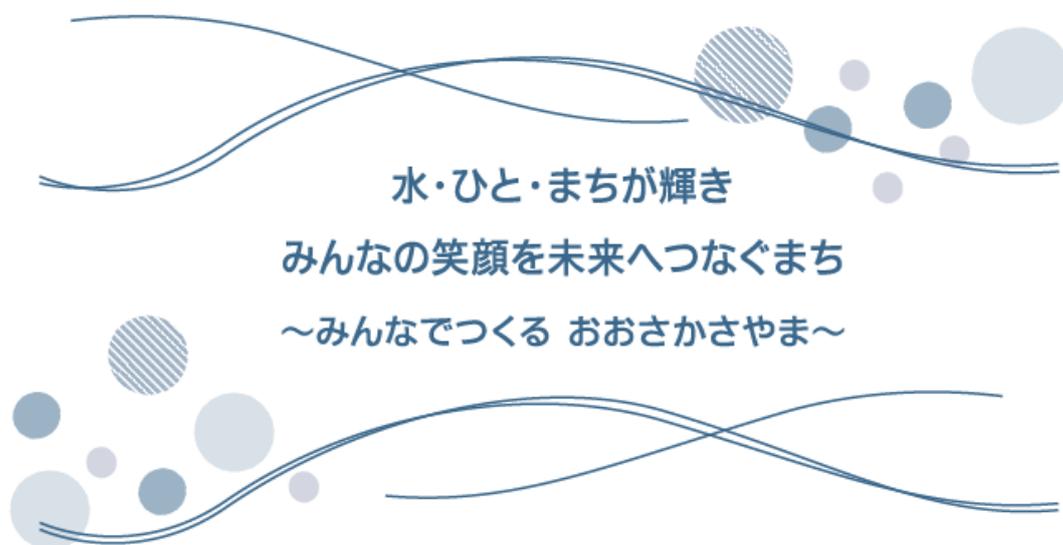


第五次大阪狭山市総合計画 実施計画

【令和6年度実施事業分】



水・ひと・まちが輝き

みんなの笑顔未来へつなぐまち

～みんなでつくる おおさかさやま～

令和6年5月

大阪狭山市

目次

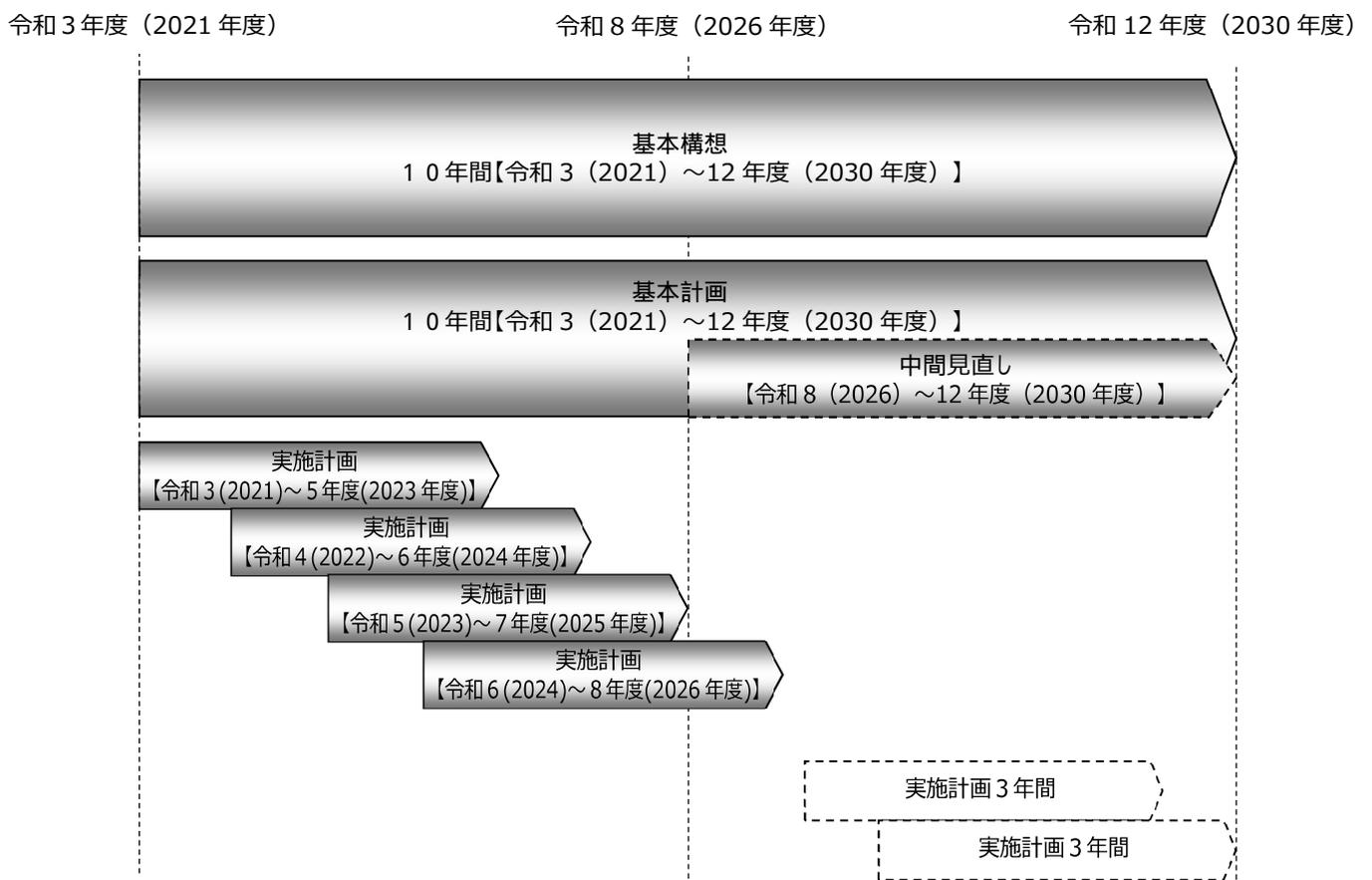
| | |
|--------------------------|----|
| 1．実施計画の位置付け | 1 |
| 2．計画期間 | 1 |
| 3．施策体系 | 2 |
| 4．実施計画の見方 | 3 |
| 【施策体系別計画】 | |
| 第1章 子どもや若者の未来が輝くまちづくり | 4 |
| 第2章 健康でいきいきと暮らせるまちづくり | 28 |
| 第3章 自然と調和した活力のある快適なまちづくり | 46 |
| 第4章 豊かな心と文化を育むまちづくり | 64 |
| 第5章 安全で安心できるまちづくり | 73 |
| 第6章 施策の推進に向けて | 82 |

1. 実施計画の位置付け

実施計画は、基本計画において定めた施策の優先度や財源との整合を勘案し、具体的で、実効性のある計画として定めるもので、毎年度の予算編成及び事業実施の指針となるものです。

2. 計画期間

実施計画の計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和5年度（2023年度）までの3年間とし、ローリング方式で毎年度見直しを行います。



3. 施策体系

基本計画は、5つのまちづくりの目標とそれを実現するための施策の推進を下支えする横断的な目標からなる6つの施策の大綱と22の施策で構成します。

| 施策の大綱（まちづくりの目標） | 施策 |
|----------------------|---------------------|
| 子どもや若者の未来が輝くまちづくり | 安心して子育てができる環境づくり |
| | 生きる力を伸ばす教育環境づくり |
| | 子どもや若者の健全育成 |
| 健康でいきいきと暮らせるまちづくり | 地域福祉の推進 |
| | 健康づくりや医療体制の充実 |
| | 高齢者が安心して暮らせる地域づくり |
| | 障がいがある人の自立と社会参加の促進 |
| | 社会保障制度の安定的な運営 |
| 自然と調和した活力のある快適なまちづくり | 快適で魅力ある都市空間の形成 |
| | 便利で快適な道路交通環境の形成 |
| | 水とみどり豊かなうおいのある環境づくり |
| | 地域から始める地球にやさしい環境づくり |
| | 産業の振興によるにぎわいの創出 |
| 豊かな心と文化を育むまちづくり | 生涯学べる環境づくり |
| | 市民文化・歴史文化の振興 |
| | 互いに人権を尊重する共生社会づくり |
| 安全で安心できるまちづくり | 防災・防犯対策の強化 |
| | 消防・救急体制の強化 |
| | 安心できる消費生活の支援 |



まちづくりの目標を実現するための施策の推進を下支え

| 施策の大綱（横断的な目標） | 施策 |
|---------------|---------------------|
| 施策の推進に向けて | 市民とともに作る参画と協働のまちづくり |
| | ①情報共有と発信の充実 |
| | ②持続可能な行財政運営 |

4. 実施計画の見方

施策ごとに基本計画の内容を記載しています。また、行政の取組内容ごとに関連する SDGs のゴールと、重点施策（総合戦略の基本目標）を記載しています。

| 施策の大綱 1 | 子どもや若者の未来が輝くまちづくり | |
|--------------------------|---|-----------------|
| 【施策1】 | 安心して子育てができる環境づくり | |
| 将来あるべき姿（めざす方向性） | 安心して子どもを産み育てられる環境が整った、子育てにやさしいまちをめざします。 | |
| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
| (1) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり |  | I-① 出産・子育ての支援 |

事業名を記載しています。

| 事業名 | 事業概要 | 指標名 | |
|------------------|--|---|-------------|
| 1 妊娠・出産包括支援事業 | 保健センターに助産師が常駐し、妊娠届出時や育児パッケージ配付時の機会を活用して、母子専用相談ルームで妊婦全員と面談し、妊娠・出産・育児に対する相談や情報提供を実施する。また、継続した支援が必要な対象を把握するとともに、必要時支援プランを作成し、産前・産後サポート事業や産後ケア事業等の支援につなげる。 | 妊産婦個別相談 延べ件数 基準値 (令和元年度) 601件 | |
| | 取組内容 | | |
| | 令和6年度 | ・助産師が妊産婦に対し、妊娠・出産・子育てについて相談や支援を行う。また、妊娠中の親の交流を図るとともに、子育て情報の提供、育児パッケージのプレゼント等を行う。 予算額 12,962 千円 | 目標値 600件 |
| | 令和5年度新規事業 令和6年度新規事業 | 継続 | 600件 |
| | 令和6年度新規事業 継続事業 | 継続 | 600件 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 600件 |
| 健康推進グループ | | | |

新規・継続事業を記載しています。

事業概要及び令和6～8年度の取組内容を記載しています。
令和6年度だけの事業（単年度事業）は、令和7～8年度の内容は「-」としています。

事業の予算を所管する担当グループを記載しています。

事業の成果を評価するための主な指標を記載しています。直近の現状値（基準値（令和元年度））を記載するとともに、令和6～8年度の目標値（該当する年度のみ）を記載しています。
指標としてふさわしくないものは、「-」としています。

| | |
|---------|-------------------|
| 施策の大綱 1 | 子どもや若者の未来が輝くまちづくり |
|---------|-------------------|

| | |
|-------|------------------|
| 【施策1】 | 安心して子育てができる環境づくり |
|-------|------------------|

| | |
|-----------------|---|
| 将来あるべき姿（めざす方向性） | 安心して子どもを産み育てられる環境が整った、子育てにやさしいまちをめざします。 |
|-----------------|---|

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|--------------------------|---|-----------------|
| (1) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり |  3 すべての人に健康と福祉を | I - ① 出産・子育ての支援 |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|-------------------------------|--|---|--|
| 1 妊娠・出産包括支援事業 | 保健センターに助産師が常駐し、妊娠届出時や育児パッケージ配付時の機会を活用して、母子専用相談ルームで妊婦全員と面談し、妊娠・出産・育児に対する相談や情報提供を実施する。また、継続した支援が必要な対象を把握するとともに、必要時支援プランを作成し、産前・産後サポート事業や産後ケア事業等の支援につなげる。 | | 妊産婦個別相談 延べ件数 基準値 (令和元年度) 601件 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・助産師が妊産婦に対し、妊娠・出産・子育てについて相談や支援を行う。また、妊娠中の親の交流を図るとともに、子育て情報の提供、育児パッケージのプレゼント等を行う。 予算額 12,962 千円 | 600件 |
| | 新規・継続 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | 600件 |
| | 担当グループ | 令和8年度 継続 | 600件 |
| 健康推進グループ | | | |
| 2 妊産婦タクシー利用助成事業 | 妊産婦の健やかな出産を支援することを目的として、妊産婦が健診や受診する際のタクシーの利用料金を一部助成する。 | | 指標名 タクシーの利用枚数 基準値 (令和元年度) 1,181枚 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・妊産婦に対し、タクシー利用料金の一部助成を行う。 予算額 612 千円 | 1,600枚 |
| | 新規・継続 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | 1,600枚 |
| | 担当グループ | 令和8年度 継続 | 1,600枚 |
| 健康推進グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|-----|--|--|---|--|------|
| 3 | 出産・子育て応援事業 (伴走型支援) | 核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくないことから、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠届出時・妊娠8か月前後・出生届出から乳児家庭全戸訪問までの間の計3回、保健センターの保健師・助産師等の専門職による個別面談を実施する。 | | 指標名 面談実施率 基準値 (令和元年度) 100% | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和6年度 | ・妊娠届出時・妊娠8か月前後・乳児家庭全戸訪問において、保健センターの保健師・助産師等の専門職による個別面談および家庭訪問を実施する。 | 予算額 551 千円 | 100% |
| | 担当グループ | 令和7年度 | 継続 | | 100% |
| | 健康推進グループ | 令和8年度 | 継続 | | 100% |
| | | | | | |
| 4 | 生殖補助医療費等助成事業 | 不妊治療に係る費用負担の軽減を図るため、保険適用された後の生殖補助医療費の自己負担額の一部をはじめ、生殖補助医療と併せて実施される先進医療に係る費用についてもその一部を助成する。 | | 指標名 申請件数 基準値 (令和元年度) - | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和6年度 | ・生殖補助医療及び生殖補助医療に併せて実施される先進医療に係る費用の助成を行う。 | 予算額 6,000 千円 | 70件 |
| | 担当グループ | 令和7年度 | 継続 | | 70件 |
| | 健康推進グループ | 令和8年度 | 継続 | | 70件 |
| | | | | | |
| 5 | 初回産科受診費用助成事業 | 低所得の妊婦の経済的負担の軽減を図り、受診しやすい体制を整備するため、産科医療機関等を初回受診する際に必要な費用の一部を助成する。 | | 指標名 申請件数 基準値 (令和元年度) - | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和6年度 | ・低所得の妊婦等に対し産科医療機関において実施される妊娠の判定に係る費用の助成を行う。 | 予算額 50 千円 | 5件 |
| | 担当グループ | 令和7年度 | 継続 | | 5件 |
| | 健康推進グループ | 令和8年度 | 継続 | | 5件 |
| | | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|-----|--|--|------|----------------|--|
| 6 | オンライン妊娠出産育児相談事業 | 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の更なる充実を図り、子どもを産み育てやすい環境を整備するため、夜間・休日でも産婦人科や小児科医師等にビデオ通話やメール等で気軽に相談できる体制を整備する。 また、SNSを活用し、定期的な医療記事配信や動画ライブ配信による情報提供を行う。 | | 登録者数 | |
| | | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | 令和6年度 | ・SNSを活用し、夜間・休日でも産婦人科や小児科医師等にビデオ通話やメール等で気軽に相談できる体制を整備し、定期的な医療記事配信や動画ライブ配信による情報提供する。 | 300人 | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 予算額 3,333 千円 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 450人 | |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 600人 | |
| | 健康推進グループ | | | | |
| 7 | 5歳児健康診査事業 | 出産後から就学前の間、切れ目なく実施している乳幼児健診に加え、学校での集団生活が始まる就学前の機会に、精神発達の状況や言語発達の遅れなどの状況把握により、発達障がいや育児上の課題の早期発見につなげるため、5歳児健診を新たに実施する。 | | 指標名 | |
| | | 取組内容 | | 受診者数 | |
| | 令和6年度 | ・実施年度に満5歳児になる幼児を対象に、集団健診方式により実施する。健診の項目は、予診、身体計測、小児科診察、各種相談とする。 | 500人 | 基準値 (令和元年度) | |
| | 新規・継続 | 予算額 2,008 千円 | | 目標値 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 400人 | |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 400人 | |
| | 健康推進グループ | | | | |
| 8 | 出産・子育て応援事業 (経済的支援) | 出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図るため、妊娠届出後に市の面談を経て出産応援ギフトを、出生届出後に市の訪問等を経て子育て応援ギフト(各5万円)を給付する。 | | 指標名 | |
| | | 取組内容 | | 給付件数 | |
| | 令和6年度 | ・出産応援ギフト、子育て応援ギフトを給付する。 | 930件 | 基準値 (令和元年度) | |
| | 新規・継続 | 予算額 47,229 千円 | | 目標値 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 930件 | |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 930件 | |
| | こども家庭支援グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-------|---------------|---|--|----------------|
| 9 | 認定子育てサポーター事業 | 子育てや保育経験のある市民を対象に、養成講座を実施し、受講生をサポーターとして認定する。子育てサポーターによる新たな取組みにより、各地域での子育て支援の充実を図る。 | | 認定子育てサポーター登録者数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 102人 | |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・子育てサポーター主催事業の充実と学校園やプレイセンター事業などに協力する。 ・フォローアップ講座を開催する。 | 120人 |
| | 令和7年度 | 継続事業 | 継続 | 120人 |
| 令和8年度 | 継続事業 | 継続 | 120人 | |
| 10 | プレイセンター事業 | 子どもに“自分で選ぶ遊び”を、親に“親のための学習会”を提供できるよう、子育て家庭の親と子どもが会員となって協同運営を行い、地域の集会所等で活動している。 | | 指標名 |
| | | | | プレイセンター設置数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 6か所 | |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・引き続き、各地区の協力を得ながら、実施する。 | 7か所 |
| 令和7年度 | 継続事業 | 継続 | 7か所 | |
| 令和8年度 | 継続事業 | 継続 | 7か所 | |
| 11 | こども家庭センター運営事業 | 児童虐待事案の未然防止や早期発見、的確な初動に万全を期すとともに、子育てに不安や悩みを抱える方々に寄り添いながら、これまで以上に、丁寧かつ親身になって対応できる体制を構築するため、母子保健分野と児童福祉分野を一体化した「大阪狭山市こども家庭センター」を、子育て支援・世代間交流センター“UPっふ”内に設置する。 | | 指標名 |
| | | | | サポートプラン作成件数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・4月1日付けで、大阪狭山市こども家庭センターを設置し、こどもや保護者、関係機関も交え、共に支援方法を考える「サポートプラン」を作成し、こども自身や保護者の意見を取り入れながら、寄り添った支援を実施する。 | 180件 |
| 令和7年度 | 継続事業 | ・「サポートプラン」の作成に際し、関係機関との合同ケース会議を定期的に行い、プランの見直しを行う。また、対面でプランを手渡すことで、こどもや保護者の意向も取り入れた支援プランをめざしていく。 | 220件 | |
| 令和8年度 | 継続事業 | 継続 | 260件 | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------|---|-----------------|
| (2) | 子育て支援の充実 |    | I - ① 出産・子育ての支援 |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 | |
|--|--|--|-------------------|-----|
| 1 | 子ども医療費対策事業 | 子どもの健全な育成を図るため、医療費の一部を助成する。 | 医療費助成対象年齢 (上限) | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | 15歳 | 目標値 | |
| | 取組内容 | | | |
| | 令和6年度 | ・引き続き、子ども医療費助成事業を実施する。 予算額 298,036 千円 | 18歳 | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 18歳 | |
| 担当グループ | | | | |
| 保険年金グループ | 令和8年度 | 継続 | 18歳 | |
| 2 | 利用者支援事業 | 「保育・子育てコンシェルジュ」が、子どもや保護者・妊婦が、教育・保育施設や子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、相談や助言を行い、子育て家庭の個々のニーズにあった必要な支援を行う。 また、保健センター等の関係機関との連絡調整、連携を図り、子育て家庭に必要な支援が行き届くようにする。 | 指標名 | |
| | | | 利用件数 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 327件 | 目標値 |
| | 取組内容 | | | |
| 令和6年度 | ・利用者の不安や心配事に寄り添い、情報提供や相談等、個々のニーズに合った必要な支援を行う。 予算額 11,363 千円 | 250件 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 250件 | |
| 担当グループ | | | | |
| こども家庭支援グループ | 令和8年度 | 継続 | 250件 | |
| 3 | 子育て情報提供事業 | 子育て家庭への支援の充実を図ることを目的に、電子母子手帳等の機能を加えた新たな子育てアプリを導入する。 | 指標名 | |
| | | | 配信件数 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 307件 | 目標値 |
| | 取組内容 | | | |
| 令和6年度 | ・子育てに関する講座や子育て情報を随時配信する。 予算額 330 千円 | 1,500件 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 1,500件 | |
| 担当グループ | | | | |
| こども家庭支援グループ | 令和8年度 | 継続 | 1,500件 | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--------------------------------|--|---|----------------|----------------|
| 4 | 子ども・子育て支援事業計画策定事業 | 子育て家庭が安心して子育てに取り組めるよう、子どもと子育てに関する総合的な施策を推進するため、「第3期大阪狭山市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度～令和11年度）を策定する。 | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・「第3期大阪狭山市子ども・子育て支援事業計画」を策定する。 | 予算額 5,720 千円 | 100% |
| | 新規・継続 | | | |
| 5 | 子ども家庭センター運営事業（再掲） | 児童虐待事案の未然防止や早期発見、的確な初動に万全を期すとともに、子育てに不安や悩みを抱える方々に寄り添いながら、これまで以上に、丁寧かつ親身になって対応できる体制を構築するため、母子保健分野と児童福祉分野を一体化した「大阪狭山市子ども家庭センター」を、子育て支援・世代間交流センター“UPっぷ”内に設置する。 | | 指標名 |
| | | | | サポートプラン作成件数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | - |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| 令和6年度 | ・4月1日付けで、大阪狭山市子ども家庭センターを設置し、子どもや保護者、関係機関も交え、共に支援方法を考える「サポートプラン」を作成し、子ども自身や保護者の意見を取り入れながら、寄り添った支援を実施する。 | 予算額 23,635 千円 | 180件 | |
| 新規・継続 | | | | |
| 令和5年度新規事業 令和6年度新規事業 継続事業 | 令和7年度 | ・「サポートプラン」の作成に際し、関係機関との合同ケース会議を定期的開催し、プランの見直しを行う。また、対面でプランを手渡すことで、子どもや保護者の意向も取り入れた支援プランをめざしていく。 | 220件 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 260件 | |
| 6 | 子育て世帯訪問支援事業 | 家事・子育て等に対し不安・負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。 | | 指標名 |
| | | | | 訪問実施回数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | - |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・訪問支援員が居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを防ぐ。 | 予算額 650 千円 | 50回 |
| | 新規・継続 | | | |
| 令和5年度新規事業 令和6年度新規事業 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 70回 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 100回 | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--------------------------|--|--------------------------------------|------------------|
| 7 | ひとり親家庭等さやりんポイント支給事業 | ひとり親等世帯及び障がい児を養育する世帯の家計負担を軽減し、子育てを支援するために、さやりんポイントを支給する。 | | 付与件数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | 37人 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・対象児童1人当たり、さやりんポイント（8,000ポイント）を付与する。 | 940人 |
| | | 新規・継続 | 予算額 8,145 千円 | |
| 8 | 子育て支援センター施設長寿命化事業 | 子育て支援センター研修室前の庇部分は劣化が著しく、コンクリートの破損及び落下の危険性があることから、施設利用者の安全性を確保するために、改修を行う。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・庇の改修工事を行う。 | 100% |
| 9 | 学校園一貫ICTサービス展開事業（放課後児童会） | 公立学校園（幼稚園・こども園・放課後児童会・小学校・中学校）において、保護者と迅速に情報共有ができる環境を整備するとともに、保護者の利便性の向上を図るため、一貫した連絡ツールシステムを導入する。 児童の安全・安心を確保するため、小学生以下の児童・園児には登下校等の管理システムを、また、事務の効率化を図るため、公立園と放課後児童会に職員の出退勤システムを導入する。 公立園と放課後児童会における諸経費をキャッシュレス決済により納付できるシステムを導入する。 | | 指標名 |
| | | | | 子どもの見守りサービスの利用者数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・システムの運用を行う。 | 700人 |
| 9 | 子ども育成グループ | 令和6年度 | 予算額 3,672 千円 | |
| | | 令和7年度 | 継続 | 1,700人 |
| | | 令和8年度 | 継続 | 1,700人 |
| | | 令和5年度新規事業 | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----------|--|--|---------------|--------------------------|
| 10 | 民間放課後児童会運営事業費補助事業 | 放課後児童会に入会する必要がある児童の受け皿を拡大するとともに、柔軟なサービスの展開による保護者ニーズの補完を図るため、民設民営の放課後児童健全育成事業実施事業者が本市に事業の実施を届け出た上で、補助金交付基準を満たして運営を行う場合、事業に係る必要経費の一部を補助する。 | | 民設民営放課後児童会の受入児童人数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 37人 |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・基準該当事業者に運営事業費の一部補助を行う。 | 予算額 36,768 千円 | 100人 |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 100人 |
| 担当グループ | | | | |
| こども育成グループ | 令和8年度 | 継続 | 100人 | |
| 11 | 放課後児童会アドバイザー設置事業 | 放課後児童会利用者の増加に伴い、児童の健全育成等に精通した経験豊かな人材を確保し、多様化する現場課題の解決等を図る。また、現場巡回を行う中で、放課後児童支援員等への直接的な助言、指導を通じ、円滑な放課後児童会運営を推進する。 | | 指標名 放課後児童会アドバイザーの確保人数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 3人 |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・放課後児童会アドバイザーを設置する。 | 予算額 4,280 千円 | 4人 |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 4人 |
| 担当グループ | | | | |
| こども育成グループ | 令和8年度 | 継続 | 4人 | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|--------------|---|-----------------|
| (3) 教育・保育の充実 |   | I-①出産・子育ての支援 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----------|--|---|------------|---------------------|
| 1 | 市立幼稚園・こども園等巡回指導事業 | 集団生活により発達障がい等の疑いのある児童に対し、子どもの特性に応じた適切な指導及び必要な支援を行うため、専門家の巡回指導を実施する。 | | 相談実施回数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) - |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・専門家の巡回指導を実施する。 | 予算額 390 千円 | 24回 |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | 24回 |
| 担当グループ | | | | |
| こども育成グループ | 令和8年度 | - | 24回 | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-------|--|--|--|-------------------------|
| 2 | 市内幼稚園等おむつ回収事業 | 保護者等の負担の軽減を図るため、市立幼稚園・こども園において使用された紙おむつについて、各園にて回収・廃棄を行う。 また、民間保育園等においても、保護者の使用済紙おむつの持ち帰りを廃止する取組みを促進するため、各園での回収・廃棄に係る費用を補助する。 | | 実施施設数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・おむつ回収事業のために必要な消耗品の購入、及びおむつ回収事業を行う民間園へ補助を行う。 予算額 1,837 千円 | 15施設 |
| | 令和7年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 継続 | 15施設 |
| 令和8年度 | 担当グループ こども育成グループ | 継続 | 15施設 | |
| 3 | 学校園一貫ICTサービス展開事業（公立幼稚園・こども園） | 公立学校園（幼稚園・こども園・放課後児童会・小学校・中学校）において、保護者と迅速に情報共有ができる環境を整備するとともに、保護者の利便性の向上を図るため、一貫した連絡ツールシステムを導入する。 児童の安全・安心を確保するため、小学生以下の児童・園児には登下校等の管理システムを、また、事務の効率化を図るため、公立園と放課後児童会に職員の出退勤システムを導入する。 公立園と放課後児童会における諸経費をキャッシュレス決済により納付できるシステムを導入する。 | | 指標名 子どもの見守りサービスの利用者数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・システムの運用を行う。 予算額 4,227 千円 | 700人 |
| | 令和7年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 継続 | 1,700人 |
| 令和8年度 | 担当グループ こども育成グループ | 継続 | 1,700人 | |
| 4 | 民間保育所・認定こども園等保育士等スポット配置補助事業 | 市内民間保育所・認定こども園・小規模保育施設に対し、現場保育士の負担軽減を図るため、登園時の繁忙な時間帯や一部の時間帯に支援者を配置するための補助金を支給する。 | | 指標名 |
| | | | | 実施施設数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・市内民間保育所・認定こども園・小規模保育施設に対し、補助金を支給する。 予算額 8,025 千円 | 11施設 |
| 令和7年度 | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 継続 | 11施設 | |
| 令和8年度 | 担当グループ こども育成グループ | 継続 | 11施設 | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|--------------|----------------|
| 5 | 民間保育所・認定こども園等ICT機器整備費補助事業 | 市内民間保育所・認定こども園・小規模保育施設に対して、保護者との連絡システム、キャッシュレス決済システム等の導入を促進するため、補助金を支給する。 | | 実施施設数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | 市内民間保育所・認定こども園・小規模保育施設に対し、補助金を支給する。 | 予算額 5,940 千円 | 11施設 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| | 担当グループ こども育成グループ | 令和8年度 | - | - |

将来あるべき姿（めざす方向性）

子どもが夢や希望を抱き、未来に向かって挑戦できる生きる力を身につける教育を推進し、次代を担う人材が育つまちをめざします。
 学校園施設の整備や児童生徒への安全で安心な学校給食の提供など、教育環境が充実したまちをめざします。

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|------------------|---|-----------------|
| (1) | 学ぶ力・生きる力を育む教育の推進 |     | I - ②教育環境の充実 |

| 事業名 | | 事業概要 | |
|-----|---|--|--|
| 1 | 子ども万博会場無料招待事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 企画・情報政策グループ | 令和7年に開催される大阪・関西万博が、未来を担う子どもたちにとって未来社会の革新的な技術やサービスを直に体験できる機会となるよう、大阪府と連携し、本市内在住の子どもを大阪・関西万博会場に無料招待する。 | 指標名 子どもの万博訪問率 基準値 （令和元年度） - 目標値 |
| | | 令和6年度 ・4歳から17歳の子どもに係る万博入場チケットの申込み受付等を行う。 予算額 560 千円 | 0% |
| | | 令和7年度 ・4歳から17歳の子どもに係る万博入場チケットの申込み受付等を行う。 ・万博会場の入場チケット代を補助する。 | 100% |
| | | 令和8年度 - | - |
| | | | |
| 2 | 学習支援員配置事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 教育指導グループ | 退職教員や教員を志望する大学生など、多様な地域人材を活用し、学習に遅れが生じている児童生徒への支援を行う。 | 指標名 児童生徒の自己肯定感の向上 基準値 （令和元年度） 83% 目標値 |
| | | 令和6年度 ・学習面において、支援が必要な児童生徒に対してサポートを行う。 予算額 4,108 千円 | 85% |
| | | 令和7年度 継続 | 85% |
| | | 令和8年度 継続 | 85% |
| | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|--|------|----------------------------------|
| 3 | キャリア教育推進事業 | 児童生徒が、小学校から中学校までのキャリア教育に関わる活動について、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価することができるよう「キャリア・パスポート」（ポートフォリオ）を作成することを通して、取組みの充実を図る。 | | 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 68% |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・新小学1年生にファイルを一冊ずつ配付し、キャリアパスポートとして、中学卒業時まで活用するよう体制を整える。各中学校区で系統的なキャリア教育が実践できるよう、各校の取組みの充実を図る。 | 78% | |
| | 新規・継続 | 予算額 264 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 80% |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 80% | |
| 教育指導グループ | | | | |
| 4 | 校務支援システム事業 | 小・中学校の教職員が使用しているシンクライアントPCに校務支援システムを導入し、教職員による日常の管理業務の効率性の向上を図る。また、児童生徒の出欠管理や健康管理等を一元化することで、出席簿や指導要録等の公募作成時における教職員の負担を軽減させる。さらに、校務支援システムに出退勤管理ツールと採点支援システムを導入し、教職員の働き方改革を推進する。 | | 指標名 教職員の時間外在校等時間の月平均時間 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 35時間 |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・校務支援システムを活用し、教職員の在校等時間の減少を図る。 | 25時間 | |
| | 新規・継続 | 予算額 10,425 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 25時間 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 25時間 | |
| 教育指導グループ | | | | |
| 5 | 生徒指導支援事業 | 生徒指導事象への対応を担うスクール・ソーシャル・ワーカーについて、優秀な人材の安定な雇用と学校以外の関係機関との連携の充実を図る。 | | 指標名 生徒指導に関わるケース会議にSSWが参加した学校数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 6校 |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・児童生徒の抱える悩みや問題を解決するため、スクールソーシャルワーカーの配置を強化する。 | 10校 | |
| | 新規・継続 | 予算額 10,242 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 10校 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 10校 | |
| 教育指導グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|--|--|
| 6 | スクリーニングシステム導入事業 | 学級担任だけでなく、管理職や生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等様々な視点から、いじめや虐待等、重大事案に関わる児童・生徒の状況をいち早く把握し、子どもが安心して登校できる環境を整備するため、YOSSクラウドサービスを導入する。 | | 専門家を交えたチーム会議を開催した学校数 基準値 (令和元年度) - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・児童生徒の学校生活の情報をAIに学習させることでより多くの情報でスクリーニングを行う。 また、学校ごとにチーム会議を開催し、児童生徒の状況を校内で把握することで、いじめや虐待等、重大事案への発展を未然に防止する。 予算額 1,034 千円 | 10校 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 10校 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 10校 |
| | 教育指導グループ | | | |
| 7 | プログラミング教育推進事業 | Society5.0の実現に向けて、中学生の情報活用能力の育成を図るため、市内全中学校で、GIGAスクール構想で整備した端末を活用し、プログラミング教育を実施する。 | | 指標名 主体的に思考したり、表現したりする児童生徒の割合 基準値 (令和元年度) 72.7% |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・令和5年度の実績をもとに、中学校3年間で系統的なプログラミング教育が実践できるよう、長期的な計画・実践を行う。 予算額 1,191 千円 | 75% |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・令和6年度の実績をもとに、中学校3年間で系統的なプログラミング教育が実践できるよう、長期的な計画・実践を行う。 | 76% |
| | 担当グループ | 令和8年度 | ・令和7年度の実績をもとに、中学校3年間で系統的なプログラミング教育が実践できるよう、長期的な計画・実践を行う。 | 78% |
| | 教育指導グループ | | | |
| 8 | 英語教育支援事業 | 生徒の英語を使う機会の確保と、英語能力の定着を図るため、中学校2・3年生を対象に、スコア型英語能力判定テストを実施し、一人ひとりの学習の伸びや課題の把握に取り組む。 また、課題となっているスピーキング力向上を図るため、大阪府が提供する英語学習ツールを全小中学校に導入する。 | | 指標名 実施校数 基準値 (令和元年度) 3校 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・中学校2年・3年生を対象にスコア型英語能力判定テストを行う。 ・府と民間の開発した英語の学習ツールを全小中学校にて導入し、府の実践校としても協力し、推進する。 予算額 8,813 千円 | 3校 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 3校 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 3校 |
| | 教育指導グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|-----|--|---|--|---|-------|
| 9 | 中学校部活動指導員配置事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 教育指導グループ | 令和9年度を目途とした部活動の地域移行に係るタイムスケジュールや導入に伴う費用、課題、学校現場への負担などを事前に把握するため、先進自治体視察を行う。 | | 教員の時間外在校等時間の月平均時間 基準値 (令和元年度) 35時間 | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・部活動指導員との協議会や連絡会を実施して、本市の部活動のあり方を協議していき、より充実した部活動指導となるようにする。 | 予算額 2,496 千円 | 25時間 |
| | | 令和7年度 | 継続 | | 25時間 |
| | | 令和8年度 | 継続 | | 25時間 |
| | | 令和9年度 | 継続 | | 25時間 |
| 10 | デジタル教科書導入事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 教育指導グループ | 市内全小中学校にデジタル教科書を導入する。 | | 指標名 導入校数 基準値 (令和元年度) - | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・外国語・英語科は市内全小中学校にて導入。 ・算数・数学科は検証参加校のみ導入を行う。 | 予算額 530 千円 | 10校 |
| | | 令和7年度 | 継続 | | 10校 |
| | | 令和8年度 | 継続 | | 10校 |
| | | 令和9年度 | 継続 | | 10校 |
| 11 | 部活動地域移行事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 教育指導グループ | 令和9年度を目途とした部活動の地域移行に向け、令和6年度から試験的に1つの部活（卓球）を民間委託する。 | | 指標名 地域移行した部活動数 基準値 (令和元年度) - | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・地域移行に向けて、教員が顧問でない指導や合同部活動や平日、休日の移動手段など実証実験を通して、今後段階的に進めていく。 | 予算額 3,758 千円 | 1部活動 |
| | | 令和7年度 | 継続 | | 3部活動 |
| | | 令和8年度 | 継続 | | 13部活動 |
| | | 令和9年度 | 継続 | | 13部活動 |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|-------------|--|--|-----|-----|
| 12 | 発達障がい児支援事業 | 発達障がい児やサポートが必要な子どもに、「手をつなGO!」において、学校園との連携を図りながら、個々に応じた療育や相談の場を提供する。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 療育や相談の場の情報を提供し、療育事業等の支援を行う。 学校園との連携強化を図る。 | 20人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 11,260 千円 | 20人 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 20人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 20人 |
| こども家庭支援グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|----------------|---|-----------------|
| (2) 教育環境の整備・充実 |    | I - ②教育環境の充実 |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|----------|--|---|------|-----|
| 1 | 教育振興基本計画改定事業 | 本市の教育全般のビジョンを示すとともに、施策を総合的、体系的に位置づけ、その実行によって本市教育のさらなる振興を図るため、「第3期大阪狭山市教育振興基本計画」を策定する。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 第3期大阪狭山市教育振興基本計画を策定する。 | 100% | |
| | 新規・継続 | 予算額 5,075 千円 | 100% | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 | - | - |
| 教育政策グループ | | | | |
| 2 | 理科等備品整備事業 | 教材整備基準を満たすため、理科等備品の教材を計画的に整備する。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の理科等備品の整備を行う。 | 70% | |
| | 新規・継続 | 予算額 3,990 千円 | 70% | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 73% |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 75% |
| 教育政策グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-------|------------------|--|--|----------------|
| 3 | 学校給食費無償化事業 | 教育に要する費用負担の軽減を図るため、学校給食費の完全無償化を段階的に進める。 | | - |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・前年度から4か月分を拡充し、2学期及び3学期分（7か月分）を完全無償化する。 予算額 112,466 千円 | - |
| | | 新規・継続 | | |
| 4 | 小中学校給食費値上げ抑制事業 | 物価高騰等により、学校給食費の値上げを検討せざるを得ない状況にある中で、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図るとともに、引き続き質の良い学校給食を提供するため、物価上昇分の学校給食費を全額補助し、値上げを抑制する。 | | 指標名 |
| | | | | - |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・児童生徒分の物価上昇分を補助を年間を通じて行う。 予算額 13,075 千円 | - |
| 5 | 栄養価管理・給食システム導入事業 | 学校給食摂取基準に基づく望ましい栄養量を算出し、児童生徒の健康の増進及び食育の推進を図るため、栄養価管理・給食システムを導入する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・（公財）大阪府学校給食会から栄養価を計算できるソフトを無償貸与をされていたが、ソフトのライセンス期間が満了となることから使用不可となる。新たな栄養価ソフトを導入することで、文科省基準の栄養価を満たしつつ、多彩な献立を提供していく。 予算額 1,161 千円 | 100% |
| 令和7年度 | - | - | | |
| 令和8年度 | - | - | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|----------|-------------------|--|--|---------------------------------------|
| 6 | 第七小学校施設環境改善事業（工事） | 学級編成基準の一律引き下げによる段階的な35人学級への移行、また住宅開発に伴う児童数の増加により、普通教室の不足が今後見込まれることから、教室を増設する。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | | 令和6年度 | ・オープンスペース等の改修工事を行う。 ・令和7年度の増築工事及び既存校舎改修工事に向けた設計業務を行う。 | |
| | | 新規・継続 | 予算額 33,350 千円 | |
| | | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・令和6年度の設計業務成果品を踏まえて増築工事及び既存校舎改修工事を行う。 |
| | | 担当グループ | 令和8年度 | - |
| 教育政策グループ | | | | |
| | | 指標名 | | |
| | | 進捗率 | | |
| | | 基準値 (令和元年度) | - | |
| | | 目標値 | 50% | |
| | | 目標値 | 100% | |
| | | 目標値 | - | |
| 7 | 中学校耐力度調査事業 | 建築から年数を経て老朽化している狭山中学校について、必要に応じて改修あるいは建て替え等を検討するため、施設の劣化状況を詳細に把握する調査を実施する。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | | 令和6年度 | ・狭山中学校の耐力度調査を実施する。 | |
| | | 新規・継続 | 予算額 5,379 千円 | |
| | | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - |
| | | 担当グループ | 令和8年度 | - |
| 教育政策グループ | | | | |
| | | 指標名 | | |
| | | - | | |
| | | 基準値 (令和元年度) | - | |
| | | 目標値 | - | |
| 8 | 第三中学校施設環境改善事業 | 第三中学校内の「みらい教室」の受け入れ体制を拡充するため、新たに教室を増設するとともに、児童の教育環境の向上を図るため、空調機を設置する。 また、給食の配膳作業員の負担の軽減を図るため、第三中学校内配膳室に空調機を設置する。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | | 令和6年度 | ・校内みらい教室ほか1室と給食配膳室に空調機を設置する。 | |
| | | 新規・継続 | 予算額 5,800 千円 | |
| | | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - |
| | | 担当グループ | 令和8年度 | - |
| 教育政策グループ | | | | |
| | | 指標名 | | |
| | | 工事施工件数 | | |
| | | 基準値 (令和元年度) | - | |
| | | 目標値 | 1件 | |
| | | 目標値 | - | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|----------|------------------|---|--|----------------|---|
| 9 | 小中学校屋内運動場熱中症対策事業 | 児童生徒が安全で安心して、授業や部活動等に取り組めるよう、小中学校の屋内運動場に大型のスポット型空調機を設置する。 | | 工事完了校数 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | | - | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・小中学校の屋内運動場に大型のスポット型空調機を設置工事を行う。 予算額 213,738 千円 | 10校 | |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| | | 担当グループ | 令和8年度 | - | - |
| 教育政策グループ | | | | | |
| 10 | 南中学校施設長寿命化事業 | 南中学校は昭和47年の設立から51年経過し、外壁の劣化が著しいことから、災害発生時に外壁や仕上げ材の剥落・落下による事故を防止するため、外壁・庇等の改修工事を行う。 | | 指標名 | |
| | | | | 進捗率 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | | - | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・外壁・庇等の改修工事を行う。 予算額 65,500 千円 | 100% | |
| | | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | | |
| 教育政策グループ | | | | | |
| 11 | 狭山中学校施設環境改善事業 | 狭山中学校校舎と体育館の所在地が同一敷地内ではないため、体育の授業時や部活動時に体育館へ移動する際、グラウンド北側通用門での出入りが必要である。現在は手動のダイヤルロックで管理しているが、学校敷地内の安全を確保するため、また教員の負担軽減の観点から電子錠を設置する。 | | 指標名 | |
| | | | | 完了校数 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | | - | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・グラウンド北側通用門に電子錠設置工事を行う。 予算額 1,600 千円 | 1校 | |
| | | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | | |
| 教育政策グループ | | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|------------------|---|--|--------------------|
| 12 | 学校図書館図書整備事業 | 文部科学省から示されている学校図書館の冊数基準は概ね満たしているが、内容が古く利用価値の低い図書や、利用頻度が高く汚れ・破れ等が目立つ図書も多数ある。時代に即した魅力ある図書へ更新することで、児童生徒の主体的な学習活動を支えるとともに、読書活動を通じて人格形成や情操を育む場となるよう、蔵書率を維持しながら学校図書館の質的向上を図る。 | | 図書購入冊数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | 3,172冊 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・各小中学校図書の整備を行う。 | 1,250冊 |
| | | 新規・継続 | 予算額 2,000 千円 | |
| 13 | 校内通信ネットワーク機器更新事業 | 学校内で1人1台端末等のインターネット通信を行ううえで欠かせないネットワーク機器について、さらなる通信環境の強化を図るため、機器を更新する。 | | 指標名 |
| | | | | 校内通信ネットワーク機器更新校数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・校内ネットワーク機器を更新する。 | 10校 |
| 14 | スクール・サポート・スタッフ事業 | 教職員の業務支援を図り、教職員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、退職教員や教員を志望する大学生など多様な地域人材を活用する。 | | 指標名 |
| | | | | 教職員の時間外在校等時間の月平均時間 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | 35時間 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・各校に週15時間（年間35週）のスクール・サポート・スタッフを配置し、学習環境の整備、パソコンでの入力業務、職員室での電話対応等の補助を行う。 | 35時間 |
| 14 | スクール・サポート・スタッフ事業 | | | 35時間 |
| | | 令和6年度 | 継続 | 35時間 |
| | | 新規・継続 | 予算額 7,212 千円 | |
| | | 令和5年度新規事業 | | |
| | | 令和6年度新規事業 | | |
| | | 継続事業 | | |
| 14 | 教育指導グループ | 令和8年度 | 継続 | 35時間 |
| | | 担当グループ | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--------------------------------|--------------------------------|--|--|------------------|
| 15 | 育英金貸付範囲拡充事業 | 多様化する学びのニーズに対応するため、育英金の貸付対象に、通信制高校を追加する。 | | 進学率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・様々な奨学金がかなわなかった場合のセーフティネットとして、通信制の学校も含めた貸与型の奨学金制度を行う。 予算額 1,440 千円 | 99% |
| | 令和5年度新規事業 令和6年度新規事業 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 99% |
| 担当グループ | 教育指導グループ | 令和8年度 | 継続 | 99% |
| | | | | |
| 16 | インクルーシブ教育充実事業 | 子ども一人ひとりの多様性に合わせた学びを支援するとともに、小学校低学年（2年生・3年生）の発達特性を効果的に把握するため、読み書きや認知面のスキルといった基礎スキルを測るICT学習ツールを全小学校に導入する。 | | 指標名 |
| | | | | チェックテストの成績下位層の減少 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・取組みの始めと終わりのチェックテストを利用して、効果測定を行う。 予算額 1,452 千円 | 10% |
| 令和5年度新規事業 令和6年度新規事業 継続事業 | 令和7年度 | ・取組みの始めと終わりのチェックテストを利用して、効果測定を行う。個別の子どもや集団の認知特性をつかんで行った取組みの交流を行い、好事例を広げていく。 | 10% | |
| 担当グループ | 教育指導グループ | 令和8年度 | 継続 | 10% |
| | | | | |
| 17 | スクールロイヤー派遣業務委託事業 | 近年、全国的にも、パソコンやスマートフォン等を用いたいじめ事例が発生する等、対応が多様化してきていることから、学校現場で生じる諸課題に速やかに対応し、生徒指導の一層の充実を図るため、教職員が学校現場専門の弁護士（スクールロイヤー）に個別相談ができる体制を整備する。 | | 指標名 |
| | | | | いじめ重大事態発生件数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・いじめ事象や保護者との関り、書類の取り扱い等、学校現場において法的な根拠に基づいた対応への相談を速やかにできる体制を構築する。 予算額 660 千円 | 0件 |
| 令和5年度新規事業 令和6年度新規事業 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 0件 | |
| 担当グループ | 教育指導グループ | 令和8年度 | 継続 | 0件 |
| | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|---|----------------|-----------------|
| 18 | 第七小学校施設環境改善事業（Wi-Fi） | 学級編成基準の一律引き下げによる段階的な35人学級への移行、また住宅開発に伴う児童数の増加により、普通教室の不足が今後見込まれることから、必要となる通信環境ネットワーク等を整備する。 | | 普通教室整備数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・第七小学校の普通教室2室にWi-Fi環境を整備する。 | 3件 | |
| | 新規・継続 | 予算額 4,592 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 教育指導グループ | | | | |
| 19 | フリースクールみ・ら・い施設改修事業 | フリースクールみ・ら・いの施設環境の向上を図るため、トイレの整備を行う。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・トイレの改修工事を行う。 | 100% | |
| | 新規・継続 | 予算額 3,012 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 教育指導グループ | | | | |
| 20 | 学校園一貫ICT化サービス展開事業（小中学校） | 公立学校園（幼稚園・こども園・放課後児童会・小学校・中学校）において、保護者と迅速に情報共有ができる環境を整備するとともに、保護者の利便性の向上を図るため、一貫した連絡ツールシステムを導入する。 児童の安全・安心を確保するため、小学生以下の児童・園児には登下校等の管理システムを、また、事務の効率化を図るため、公立園と放課後児童会に職員の出退勤システムを導入する。 | | 指標名 |
| | | | | 子ども見守りサービスの利用者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・システムの運用を行う。 | 700人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 0 円 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 1,700人 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 1,700人 | |
| 教育指導グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-----------------|---|-----------------|
| (3) | 学校園・家庭・地域の連携の推進 |  | I-②教育環境の充実 |

| 事業名 | | 事業概要 | |
|-------|---|---|--|
| 1 | 学校運営協議会事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 教育指導グループ | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている学校運営協議会を設置し、地域と学校の連携・協働を効果的に行うコミュニティ・スクールを推進する。 | |
| | | 指標名 学校運営協議会設置数 | |
| | | 基準値 (令和元年度) - | |
| | | 取組内容 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・学校運営協議会を設置している学校において、年間3回の学校運営協議会を実施する。 ・小学校全校に学校運営協議会を設置する。 予算額 644 千円 |
| 令和7年度 | ・学校運営協議会を中学校区ごとで年3回実施する。 | 3校 | |
| 令和8年度 | 継続 | 3校 | |
| 2 | 地域学校協働活動事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 生涯学習グループ | 地域と学校の連携・協働を効果的に進めるため、「地域学校協働活動推進員」を配置し、地域学校協働活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの成長を支える基盤づくりを推進する。 | |
| | | 指標名 地域学校協働活動推進員 配置人数 | |
| | | 基準値 (令和元年度) - | |
| | | 取組内容 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・全小学校に地域学校協働活動推進員を配置する。 予算額 8,206 千円 |
| 令和7年度 | ・地域学校協働活動推進員は中学校区ごとに常勤として配置し、小学校を含め推進する。 | 3人 | |
| 令和8年度 | 継続 | 3人 | |

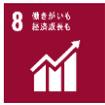
将来あるべき姿（めざす方向性）

すべての子どもや若者が健やかに育ち、地域社会の一員として、自立した社会生活を営むことができるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-----------------|---|-----------------|
| (1) 青少年の健全育成の推進 |    | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 | |
|--------------------|--|---|--|----|
| 1 さやま元気っこ推進事業 | 安全で安心な放課後の子どもたちの居場所づくりとして、市内小学校でさやま元気っこ推進事業を実施する。 | | コーディネータ年間 総配置人数 基準値 (令和元年度) | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・コーディネーターを配置し、市内小学校での元気っこ事業を推進する。 予算額 8,285 千円 | 1人 | |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | | 1人 |
| | 担当グループ | | | |
| 生涯学習グループ | 令和8年度 継続 | | 1人 | |
| 2 子ども居場所づくり推進事業 | 放課後や休日に、子どもたちを対象とした継続的な活動に取り組む団体を支援する「子どもの居場所づくり推進事業補助金」の活用を促進し、放課後児童会に入会する必要がある児童の受け皿の拡大と身近な地域における居場所づくりを推進する。 | | 指標名 子どもの居場所づくり推進事業費補助件数 基準値 (令和元年度) | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・子どもの居場所づくり推進団体への事業経費補助を行う。 予算額 1,300 千円 | 3件 | |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | | 7件 |
| | 担当グループ | | | |
| 生涯学習グループ | 令和8年度 継続 | | 7件 | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|--|---|---------------------------------|
| 3 | 青少年健全育成事業 | 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年指導員を委嘱し、各地域での健全育成事業を行い、非行化防止等に努める。また、青少年健全育成のために活動をしている団体を支援する。 | | 青少年指導員研修の実施回数 基準値 (令和元年度) |
| | | 取組内容 | | 0回 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・青少年健全育成のために活動をしている団体への事業費補助等を行う。 予算額 2,018 千円 | 1回 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 1回 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 1回 |
| | 生涯学習グループ | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------|---|-----------------|
| (2) 若者の自立支援 |   | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|---|---------------------------------------|
| 1 | 子ども居場所づくり推進事業（再掲） | 放課後や休日に、子どもたちを対象とした継続的な活動に取り組む団体を支援する「子どもの居場所づくり推進事業補助金」の活用を促進し、放課後児童会に入会する必要がある児童の受け皿の拡大と身近な地域における居場所づくりを推進する。 | | 子どもの居場所づくり推進事業費補助件数 基準値 (令和元年度) |
| | | 取組内容 | | 0件 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・子どもの居場所づくり推進団体への事業経費補助を行う。 予算額 1,300 千円 | 3件 |
| | <input type="checkbox"/> 令和4年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 3件 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 7件 |
| | 生涯学習グループ | | | |

【施策4】

地域福祉の推進

将来あるべき姿（めざす方向性）

市民が相互に支えあい、助け合うとともに、市民や行政、福祉サービス事業者などが連携・協働して、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------------|---|---------------------------------|
| (1) 地域で支えあう仕組みづくり |    | II - ②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | |
|--------------------------|--|--------------------------|---|
| 1 避難行動要支援者支援事業 | 事業概要 | | 指標名 避難行動要支援者名簿登録者数 基準値 (令和元年度) 1,947人 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・システムの運用により、要支援者名簿を更新する。 | 2,000人 |
| | 新規・継続 | 予算額 781 千円 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | 2,050人 |
| | 担当グループ | | |
| 危機管理室 | 令和8年度 継続 | 2,100人 | |
| 2 重層的支援体制整備事業 | 事業概要 | | 指標名 体制の整備率 基準値 (令和元年度) - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・相談支援体制の運用を図る。 | 100% |
| | 新規・継続 | 予算額 36,737 千円 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | 100% |
| | 担当グループ | | |
| 福祉政策グループ | 令和8年度 継続 | 100% | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|-------------|---|----------------|----------------|
| 3 | 地域福祉計画策定事業 | 地域福祉の今後のあり方、市としてめざすべき方向性を定めるため、高齢者・障がい者・子ども等の個別計画を包含する計画として、第5次大阪狭山市地域福祉計画・大阪狭山市地域福祉活動計画（計画期間：令和7年度～令和11年度）を策定する。 | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・「第5次大阪狭山市地域福祉計画・大阪狭山市地域福祉活動計画」を策定する。 | 100% | |
| | 新規・継続 | 予算額 5,408 千円 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 福祉政策グループ | | | | |
| 4 | 地域の居場所づくり事業 | 高齢者などの生活を地域全体で見守り支えるために、高齢者やその家族、地域の住民などが一緒に過ごせる地域の居場所としての機能を併せ持つ介護施設を開設し、地域交流スペースの確保や認知症カフェの定期開催などを実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 認知症対応型施設数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 11箇所 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・施設における取組みの強化・充実を図る。 | 13箇所 | |
| 新規・継続 | 予算額 0 千円 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 13箇所 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 13箇所 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-----------------|---|------------------------------|
| (2) 地域福祉の担い手づくり |   | Ⅱ-②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|-----------------|--|-----|----------------|
| 1 | 小地域ネットワーク活動推進事業 | 住民の助け合いによる福祉のまちづくりをめざしている地区福祉委員会の見守り活動・サロン活動・会食サービス等の小地域ネットワーク活動を支援し、地域の担い手の拡充を図る。 | | 事業実施委員会数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 9団体 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・ボランティア活動補助金（小地域ネットワーク活動推進事業分）を交付する。 | 9団体 | |
| | 新規・継続 | 予算額 6,737 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 9団体 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 9団体 | |
| 福祉政策グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|------------------------|---|------------------------------|
| (3) | 高齢者や障がい者などにやさしい生活環境の整備 |   | Ⅱ－②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|----------------------------------|--|--|------------|
| 1 | 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 | 認知症の人やその家族が地域で生活する不安を軽減するため、認知症高齢者等が事故で第三者に損害を負わせてしまうなどして発生した損害賠償責任を補償する保険に市が加入する。 | | 指標名 |
| | | | | 保険加入者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 0人 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者やその家族に対し、加入を推進する。 令和6年度から、主治医意見書提出の要件を撤廃し、対象を拡充する。 予算額 316 千円 | 90人 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者やその家族に対し、加入を推進する。 | 95人 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 100人 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |
| 2 | 大阪狭山市上下水道料金福祉減免制度の見直しに伴う激変緩和措置事業 | 上下水道料金の福祉減免制度の見直しに伴い、福祉減免を受けていた対象世帯の家計負担軽減を図るため、対象となる世帯にさやりんポイント（10,000ポイント）を付与する。 | | 指標名 |
| | | | | ポイントカード配布数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | － | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度末の福祉減免対象者から、引き続き要件に該当する市民へさやりんポイントカードを配布する。 予算額 32,242 千円 | 3,000枚 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 3,000枚 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | － | － | |
| 福祉政策グループ | | | | |
| 3 | 高齢者移動支援事業 | 地域の高齢者等が安心して生活が出来るように地域住民の参加と協力による支え合い・助け合い活動を行うことにより、思いやりのある明るく住みよいまちづくりを推進し、循環バス等での移動困難な高齢者の移動を支援するため、ボランティアが運転する車両で送迎する体制を整備する。 | | 指標名 |
| | | | | 利用者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | － | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 上半期に事業の準備（制度設計やボランティアの養成、関係機関との調整）を行い、下半期に運行を開始する。 予算額 13,201 千円 | 1,098人 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | <ul style="list-style-type: none"> ボランティアと協力して移動困難な高齢者の移動支援を実施する。 | 2,196人 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | － | 2,196人 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|--|--|----------------|
| 4 | 高齢者一時保護事業 | 認知症高齢者の増加に伴い、警察での高齢者保護件数は年々増加していることから、身元がわからない認知症高齢者が一時的に生活できる体制を整備する。 | | — |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・身元がわからない認知症高齢者が発生した際に、早急に一時保護することができる体制を整備する。 | — |
| | | | 予算額 533 千円 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | — |
| | 担当グループ 高齢者福祉グループ | 令和8年度 | 継続 | — |

将来あるべき姿（めざす方向性）

市民が主体となって、いきいきと楽しみながら、健康に暮らせるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|--------------|---|---------------------------------|
| (1) 健康づくりの推進 |   | II - ②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 | |
|----------------------|---|--|-------------------------|------|
| 1 健康づくり推進事業 | 健康大阪さやま21（第2次後期計画）食育推進計画（第2次）に基づき、健康づくり食育を推進する。 また、自殺対策計画に基づき、心の健康に関する相談窓口へ周知や、自殺対策を支える人材を育成するためのゲートキーパー養成研修の実施など、自殺予防対策を推進する。 | | ゲートキーパー養成研修受講者数（延べ人数累計） | |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | 令和6年度 | ・健康づくり応援ステップアップ講座、食育教室、食生活改善推進員養成講座を実施するとともに、それらに係る情報発信を行う。 ・ゲートキーパー養成研修や自殺対策ネットワーク会議を開催する。 予算額 2,698 千円 | 97人 | |
| | 新規・継続 | | 目標値 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | | 350人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 継続 | | 350人 |
| 健康推進グループ | | | | |
| 2 がん検診事業（がん予防対策費） | すべてのがん対策のうち、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診について受診勧奨を強化する。また、要精密検査者には受診勧奨を徹底し、精検受診率を100%にすることで、がんの早期発見、早期治療につなげる。さらに、たばこに関する知識の普及、禁煙指導の推進や飲食店などの事業者への受動喫煙防止対策の取組みを強化する。 | | 指標名 | |
| | 取組内容 | | 子宮頸がん検診受診率 | |
| | 令和6年度 | ・一部負担金無料クーポンを送付（20歳女性に子宮頸がん検診、40歳女性に乳がん検診、40歳に大腸がん検診）するとともに、がん検診重点受診勧奨対象者層への個別受診勧奨を行う。 予算額 79,114 千円 | 基準値 (令和元年度) | |
| | 新規・継続 | | 19% | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | | 40% |
| | 担当グループ | 令和8年度 継続 | | 45% |
| 健康推進グループ | | | 45% | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|-----|--|--|---|----------------------|
| 3 | 風しんに関する追加対策事業 | 出生児が先天性風しん症候群（白内障、先天性心疾患、難聴など）を発症することを未然に防止するため、公的に風しんの予防接種を受ける機会がなかった世代の男性を対象に、令和元年度から令和3年度までの3年間実施していた抗体検査と予防接種法に基づく風しん第5期の予防接種（定期接種）について、さらに令和4年度から令和6年度までの3年間、実施期間を延長して実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 抗体検査受検者数 (延べ人数累計) |
| | | | 基準値 (令和元年度) | 1,312人 |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、抗体検査を受検していない、または抗体価が十分なかったが、ワクチン接種を受けていない人に、受検等の勧奨を行う。 | 4,000人 |
| | | 新規・継続 | 予算額 1,997 千円 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 | - | - |
| | 健康推進グループ | | | |
| 4 | 骨髄バンクドナー助成事業 | 骨髄移植ドナー登録者を増やし、骨髄等を提供しやすい環境を整備するため、公益財団法人日本骨髄バンクが実施している「骨髄バンク」に登録し、骨髄移植ドナーとなり骨髄・末梢血幹細胞を提供した人に、骨髄等の提供のため入院・通院に要した日数に応じた助成金を支給する。 | | 指標名 |
| | | | | 助成対象者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | - |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・骨髄移植ドナー登録者の登録についての啓発を実施し、骨髄移植ドナーとなり骨髄・末梢血幹細胞を提供した人に助成金を支給する。 | 2人 |
| | | 新規・継続 | 予算額 280 千円 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 2人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 2人 |
| | 健康推進グループ | | | |
| 5 | 健康大阪さやま21（第3次）・大阪狭山市食育推進計画（第3次）策定事業 | 健康増進事業と食育推進事業の指針となる計画として、令和2年度に策定した健康大阪さやま21（第2次後期計画）と食育推進計画（第2次）の次期計画（計画期間：令和7年度～令和18年度）を策定する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | - |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・令和5年度に実施した調査結果に基づき、健康大阪さやま21（第3次後期計画）と食育推進計画（第3次）を策定する。 | 100% |
| | | 新規・継続 | 予算額 5,054 千円 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 | - | - |
| | 健康推進グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|---|---|------|
| 6 | がん患者等の医療用補正具購入費助成事業 | がん患者等の治療と就労・就学の両立、療養生活の質の向上を図るため、抗がん剤治療等によって脱毛が生じた方や、先天的あるいは事故等により脱毛等が生じた18歳到達年度までの児童を対象に、医療用ウィッグの購入費用の一部を助成する。 また、乳房切除を受けた方には、乳房補正具の購入費用の一部を助成する。 | | 指標名 |
| | | | | 助成人数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・医療用補正具購入費用の助成を行う。 | 25人 |
| | | 予算額 | 500 千円 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 25人 |
| 担当グループ | | 令和8年度 | 継続 | 25人 |
| 健康推進グループ | | 令和8年度 | 継続 | 25人 |
| 7 | 成人歯科健康診査拡充事業 | 歯周疾患等の早期発見、早期治療につなげるため、健康増進法が定める対象に、市独自の対象も加え、40歳から60歳及び70歳の人を対象として現在実施している歯科健康診査（年度内1回、自己負担金500円）について、法に基づく対象年齢の拡大にあわせ、20歳・30歳の人を追加し、対象者を拡充する。 | | 指標名 |
| | | | | 受診率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 3.13% | |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・現在、実施している歯科健康診査の対象に、新たに20歳・30歳の人を追加し、歯科健康診査の受診勧奨を図る。 | 3.5% |
| | | 予算額 | 4,886 千円 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 3.5% |
| 担当グループ | | 令和8年度 | 継続 | 3.5% |
| 健康推進グループ | | 令和8年度 | 継続 | 3.5% |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------|---|------------------------------|
| (2) 医療体制の充実 |   | Ⅱ-②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|--|--|----------------------|
| 1 | 休日診療体制整備事業 | 大阪狭山市医師会と連携し、日曜日・祝日及び休日、年末年始（12月30日～1月3日）における初期救急医療体制を確保するため、15歳以上の内科の外来救急患者に対する応急診療を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 実診療日/医療提供体制維持に必要な診療日 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 100% | |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・大阪狭山市医師会の協力を得て、日曜日・祝日及び休日、年末年始における内科の外来救急患者に対する応急診療を実施する。 | 100% |
| | | 予算額 | 31,020 千円 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 100% |
| 担当グループ | | 令和8年度 | 継続 | 100% |
| 健康推進グループ | | 令和8年度 | 継続 | 100% |

将来あるべき姿（めざす方向性）

いくつになっても住み慣れた地域で生きがいを持って、安心して暮らし続けられるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------------------|---|---------------------------------|
| (1) 地域での包括的な支援体制の充実 |   | II - ②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|---|--|----------------|
| 1 ICT医療情報連携ネットワーク体制構築事業 | 患者の診療情報等や調剤情報、訪問看護情報、及び介護サービス情報等を各医療・介護関係者が登録し、医療及び介護従事者が相互にその情報を閲覧できる医療介護情報連携ネットワーク体制の構築を図る。 | | ネットワーク連携機関数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 23箇所 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・介護情報連携を付加するための必要なシステム・ネットワークを構築する。 予算額 0 円 | 35箇所 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 40箇所 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 45箇所 |
| 高齢者福祉グループ | | | |
| 2 緊急通報システム事業 | ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、ひとり暮らしの重度身体障がい者等の日常生活上の安全を確保し、ひとり暮らし高齢者等の精神的な不安を解消するため、緊急通報システムを貸与する。 | | 指標名 |
| | | | 利用者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| 令和6年度 | ・令和6年度から、新たに「ひとり暮らし」という貸与対象世帯の要件を見直し、高齢者夫婦、あるいは兄弟等、65歳以上のみ世帯にも対象を拡充する。 予算額 5,437 千円 | 175人 | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、ひとり暮らしの重度身体障がい者等に対し、利用を推進する。 | 190人 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 208人 |
| 高齢者福祉グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|-------------|---|-----|-----------------|
| 3 | 介護給付費等適正化事業 | 効果的な介護予防ケアマネジメントの実践に向け、介護サービスの過剰な給付を適正化を図るため、専門職（理学療法士・作業療法士）によるケアプラン点検及び指導を実施する。 | | 専門職によるケアプラン点検件数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・専門職（理学療法士・作業療法士）によるケアプラン点検及び指導を実施する。 | 60件 | |
| | 新規・継続 | 予算額 240 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 60件 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 60件 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|------------------|---|------------------------------|
| (2) 高齢者自立支援などの推進 |   | Ⅱ－②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|---------------|--|----------------|----------------|
| 1 | 一般高齢者運動機能向上事業 | 運動機能の向上や介護予防の普及啓発を図り、要介護状態等になることを予防するため、市内在住の65歳以上の一般高齢者、また、運動機能や生活上の心身機能の低下がある高齢者に対し、自宅でもできる簡単な体操やストレッチ、上下肢筋力トレーニング等の軽微な運動を指導する「さやまエイジングエクササイズ」事業を実施する。 | | 年間総参加者数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 1,013人 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・高齢者に軽微な運動を指導し、運動機能の向上、介護予防に努める。 | 1,440人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 2,931 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・健康運動指導員の指導のもと、軽微な運動を行い、運動機能の向上・生活上の心身機能を向上させる習慣をつけ、介護予防を図る。 | 1,440人 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 1,440人 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |
| 2 | いきいき百歳体操事業 | 加齢に伴う運動機能の低下及び転倒などによる骨折の防止や、健康増進の意識醸成を目的として、地域の住民による主体的な事業運営のもと、全身の筋力アップにつながる介護予防体操を各地区の誰もが気軽に通うことのできる身近な場所で実施する。また、いきいき百歳体操を行う団体の活動を支援する支援員（有償ボランティア）を養成し、派遣するとともに、実施団体に、専門職を派遣し、地域住民の介護予防に関する知識を深め、介護予防に対する意識の醸成を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 実施箇所数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 27箇所 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・地域住民による事業運営のもと、介護予防体操の普及に努める。 ・支援員（有償ボランティア）の養成、派遣を行い、活動支援を図る。 | 36箇所 | |
| 新規・継続 | 予算額 1,327 千円 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 41箇所 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 45箇所 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--------------|---|--|------------|
| 3 | 介護予防活動強化推進事業 | 高齢者の生活課題解消をめざすため、日常生活に支障のある生活行為を分析したうえで、利用者の個別性に応じ、リハビリテーション専門職が関与する運動・栄養・口腔プログラムを短期間（3か月）で集中的に実施します。また、住民及び介護従事者向けに研修会や講演会を開催し、事業の普及啓発、住民の意識向上を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 実施箇所数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・短期集中予防サービス事業の充実・強化を図り、普及啓発を通じ、住民の意識向上を図る。 予算額 4,928 千円 | 1箇所 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 2箇所 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 2箇所 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |
| 4 | 成年後見制度利用促進事業 | 認知症や知的障がいなどで判断能力が十分でない人を支援する成年後見制度については、関連する相談が増加する一方、高い専門性が必要となることから、成年後見制度の理念に沿った利用促進を図るために必要な助言や利用に向けた調整を担うため、権利擁護センターに、新たな相談窓口（成年後見制度利用に係る中核機関）機能を拡充する。 | | 指標名 |
| | | | | 成年後見制度利用件数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・成年後見制度に関する周知啓発や利用促進を行う。 予算額 6,799 千円 | 45人 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 50人 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 55人 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |
| 5 | 介護予防等促進事業 | 高齢者の生きがいづくり、介護予防支援等を目的に、本市熟年大学修了者及び介護予防啓発講演会参加者にさやりんポイントを付与することで、講座等への参加を促すとともに、市民意識の高揚を図る。 | | 指標名 |
| | | | | ポイント付与数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・熟年大学修了者及び住民向け介護予防啓発講演会の参加者にさやりんポイントを付与することで、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも生きがいを持って生活できる地域づくりを推進する。 予算額 405 千円 | 700件 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 700件 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 700件 | |
| 高齢者福祉グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | | |
|-----|--|--|----------------|-----|------|
| 6 | (仮称)米寿のお祝い さやりんギフト事業 | 88歳の敬老祝い金(20,000円)としての現金給付を廃止し、米寿のお祝いと地域経済の活性化を図るため、さやりんポイント(20,000円分)を付与する。 | | | |
| | | 取組内容 | | | |
| | 令和6年度 | ・満88歳到達者に対し2万円分のさやりんポイントを給付し、その長寿をお祝いするとともに地域経済の活性化にもつなげる。 | 指標名 | 配付率 | |
| | 新規・継続 | 予算額 8,390 千円 | 基準値 (令和元年度) | — | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 目標値 | 100% |
| | 担当グループ 高齢者福祉グループ | 令和8年度 | 継続 | | 100% |

【施策7】

障がいがある人の自立と社会参加の促進

将来あるべき姿（めざす方向性）

障がいの有無に関係なく、すべての人にとって暮らしやすい、ともに生きるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|------------------|---|--------------------------------|
| (1) 障がい者の社会参加の促進 |     | Ⅱ - ②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|---|----------------|
| 1 福祉タクシー利用料金助成事業 | 重度障がい者の社会参加を促進するため、福祉タクシーの利用券の給付を行う。 | | 給付枚数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 24枚 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・福祉タクシー利用券給付枚数（年間24枚（1ヶ月あたり2枚））を給付する。 予算額 3,264 千円 | 24枚 |
| | 新規・継続 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 24枚 |
| 担当グループ | | | |
| 福祉政策グループ | 令和8年度 | 継続 | 24枚 |
| 2 軽度難聴児補聴器給付事業 | 軽度難聴児（聴力30dB～60dB）に対して、言語及び生活訓練を促進するため、補聴器を給付し、その福祉の増進を図る。 | | 指標名 |
| | | | 給付者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 1人 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・補聴器を給付する。 予算額 203 千円 | 3人 |
| 新規・継続 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 3人 |
| 担当グループ | | | |
| 福祉政策グループ | 令和8年度 | 継続 | 3人 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|-----|--|--|----|------------------------------------|-----|
| 3 | 障がい者総合相談支援センター事業 | 地域における相談支援の中核的な役割を担う機関である基幹相談支援センターを設置し、障がいの種類にかかわらず、総合的な相談を行うとともに、地域の相談支援事業者間の連絡調整や関係機関の連携の支援を行う。 | | 基幹相談支援センター 総数 基準値 (令和元年度) | |
| | | 取組内容 | | 1箇所 | |
| | 令和6年度 | ・基幹相談支援センターの運営を図る。 | | 1箇所 | |
| | 新規・継続 | 予算額 20,453 千円 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | | 1箇所 |
| | 担当グループ 福祉政策グループ | 令和8年度 | 継続 | | 1箇所 |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------------|---|------------------------------|
| (2) 障がい者福祉サービスの充実 |   | Ⅱ-②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|-----|--|---|----|-----------------------------|------|
| 1 | 地域生活支援入浴サービス事業 | 重度障がい児が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、入浴が困難な重度障がい児に施設での入浴サービスを提供し、清潔の保持・心身機能の維持を図る。 | | 延べ利用人数 基準値 (令和元年度) | |
| | | 取組内容 | | - | |
| | 令和6年度 | ・施設での入浴サービスを実施する。 | | 120人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 1,254 千円 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | | 120人 |
| | 担当グループ 福祉政策グループ | 令和8年度 | 継続 | | 120人 |
| 2 | 障がい者グループホーム設置促進事業 | 障がい者の自立を支援するため、地域自立支援協議会において、入所施設関係者や相談支援事業者、グループホーム運営事業者と連携を図りながら、グループホームの設置を促進する。 | | グループホーム定員 基準値 (令和元年度) | |
| | | 取組内容 | | 53人 | |
| | 令和6年度 | ・地域包括ケアシステム部会を開催し、地域移行に向けた意識の啓発等を行い、グループホームの設置を促進する。 | | 88人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 0 円 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | | 92人 |
| | 担当グループ 福祉政策グループ | 令和8年度 | 継続 | | 92人 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-------|--------------|---|---------------------------------|----------|
| 3 | 自立支援給付事業 | 障害者総合支援法に基づく介護給付費、訓練等給付費、自立支援医療費等の給付、及び児童福祉法に基づく育成医療給付費、障害児通所給付費、肢体不自由児通所医療費等の給付を行う。 | | 指標名 |
| | | | | 給付者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 12,078人 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | 新規・継続 | ・自立支援給付を行う。 予算額 1,919,529 千円 | 20,000人 |
| 4 | 地域生活支援拠点整備事業 | 障がい者（児）が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みを構築するため、地域の事業者が機能を分担して面的な支援を行う体制等の整備を推進する。 | | 指標名 |
| | | | | 拠点機能整備率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 100% | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・拠点事業の運営を図るとともに、事業見直しの検討を行う。 予算額 2,584 千円 | 100% | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |
| 5 | 障がい者等相談支援事業 | 身体障がい者や精神障がい者及び家族等へ必要な情報の提供・助言、障がい者等に対する虐待の防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や、全国的に増加傾向にある「ひきこもり」の状態にある当事者及び家族の相談に対応するため、相談体制の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 相談支援専門員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | 新規・継続 | ・本市の相談機能内におけるひきこもり相談の付加の必要性から、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図る。 予算額 59,497 千円 | 1人 | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-----------|---|------------------------------|
| (3) | 障がい者理解の促進 |   | Ⅱ－②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|----------|--|---|-------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 障がい者虐待防止事業 | 障害者虐待防止法により、市虐待防止センターを設置するとともに、市民に対して法律の趣旨及び制度の啓発等を行う。また、虐待を受けた障がい者を保護するため、緊急一時保護居室の確保及び後見人等の支援をする。 | | 指標名 |
| | | | | 市虐待防止センター設置数 基準値 (令和元年度) |
| | | | 1箇所 | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・制度の啓発等を行うとともに、緊急一時保護居室を確保する。 | 1箇所 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 1箇所 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 1箇所 | |
| 福祉政策グループ | | | | |
| | | 予算額 | 1,036 千円 | |

将来あるべき姿（めざす方向性）

すべての人の安定した生活と自立を支援するまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-----------------|---|-----------------|
| (1) 国民健康保険制度の充実 |   | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 | |
|-------------------|--|---|--|-------|
| 1 特定健康診査受診勧奨事業 | 40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に実施している特定健診または30歳以上の国民健康保険被保険者を対象に実施している人間ドックを受診した人に対し、自身の健康管理について知識を深め、継続受診の重要性を認識できるよう、過去3年分の健診結果に基づいたアドバイス冊子と、市内登録店舗で利用できる「さやりんポイントカード」を進呈することで、受診率向上を図る。（30歳代の人間ドック受診者にはさやりんポイントカードのみ進呈）あわせて、特定健診未受診者の特性を分析し、電話やハガキにて効率的・効果的に受診勧奨を行い、更なる受診率向上を図る。 | | 国民健康保険特定健康診査受診率 基準値 (令和元年度) 34.9% | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・令和6年度特定健診または人間ドック受診者及び令和5年度進呈対象者の未進呈者に健診結果アドバイス冊子とさやりんポイントカード5,000円分を進呈する（30歳代の人間ドック受診者にはさやりんポイントカードのみ進呈）。また、令和6年度未受診者に対し、電話やハガキで受診勧奨を行う。 予算額 32,375 千円 | 45.0% | |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・令和6年度特定健診または人間ドック受診者に健診結果アドバイス冊子とさやりんポイントカード5,000円分を進呈対象者の未進呈者に進呈する（30歳代の人間ドック受診者にはさやりんポイントカードのみ進呈）。また、令和7年度未受診者に対し、電話やハガキで受診勧奨を行う。 | 48.0% |
| | 担当グループ | 令和8年度 | ・令和8年度未受診者に対し、電話やハガキで受診勧奨を行う。 | 51.0% |
| 保険年金グループ | | | | |
| 2 保険料等納付勧奨事業 | 保険料の納め忘れの防止と、収納率の向上を図るため、コールセンターを設置し、主に現年度未納者を対象に電話勧奨を行う。 | | 指標名 納付勧奨による納付率 基準値 (令和元年度) 62.7% | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・保険料の納め忘れの防止と、収納率の向上を図るため、コールセンターを設置し、主に現年度保険料の未納者を対象に電話勧奨を行う。 予算額 2,583 千円 | 73.0% | |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 73.0% |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 73.0% |
| 保険年金グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|-------|---|--|----------------|----------------|---|
| 3 | オンライン特定保健指導 運動支援事業 | 特定保健指導利用率向上を図るため、特定保健指導利用期間（6か月間）のうちの3か月間、アプリでの運動コンテンツを利用したオンラインでの運動支援を行う。また、勤務等で対面式での特定保健指導面接の利用が困難な対象者に対し、オンラインにて特定保健指導と運動支援を行う。 | | 特定保健指導実施率 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 33.4% | | |
| | 取組内容 | | 目標値 | | |
| | 令和6年度 | ・特定保健指導対象者に希望有無を確認し、希望者にアプリ案内や、オンライン特定保健指導または運動支援を行う。 | 34.7% | | |
| | 新規・継続 | 予算額 1,484 千円 | | | |
| 4 | 早期介入保健指導事業 | 若年層の健康意識とQOLの向上、生活習慣病の一次予防とともに、長期的には医療費の抑制及び適正化につなげるため、特定健診の対象前となる30歳代の国民健康保険被保険者を対象に「スマホdeドック」（郵送型血液検査キット）を希望者先着100名に無料で提供する。 | | 指標名 | |
| | | | | 利用率 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | | |
| | | | — | | |
| | 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | ・「スマホdeドック」を受診した結果、異常値が確認された場合は、生活習慣の改善アドバイスや医療機関への受診を促すメッセージを表示し、適切な治療につなげる。 | 100% | | | |
| 新規・継続 | 予算額 707 千円 | | | | |
| 1 | 国民年金事業 | 法定受託事務を中心に効率的かつ効果的な事務処理を行い、市民の老後の生活基盤の安定が図れるように年金受給権確保のための取組を推進する。 | | 指標名 | |
| | | | | — | |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | | |
| | | | — | | |
| 令和6年度 | ・日本年金機構と連携し、未加入者への加入促進及び保険料未納による無年金者の防止に努める。 | 目標値 | | | |
| 新規・継続 | 予算額 501 千円 | — | | | |
| 1 | 国民年金事業 | 令和7年度 | | 継続 | — |
| | | 令和8年度 | | 継続 | — |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | — | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------------|---|-----------------|
| (2) 国民年金制度の促進 |   | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|-----|--------|--|-----|----------------|---|
| 1 | 国民年金事業 | 法定受託事務を中心に効率的かつ効果的な事務処理を行い、市民の老後の生活基盤の安定が図れるように年金受給権確保のための取組を推進する。 | | — | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | | |
| | 取組内容 | | 目標値 | | |
| | 令和6年度 | ・日本年金機構と連携し、未加入者への加入促進及び保険料未納による無年金者の防止に努める。 | — | | |
| | 新規・継続 | 予算額 501 千円 | | | |
| 1 | 国民年金事業 | 令和7年度 | | 継続 | — |
| | | 令和8年度 | | 継続 | — |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | — | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|------------------|---|-----------------|
| (3) | 生活保護受給者、生活困窮者の支援 |    | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|-----|--|--|--|------|
| 1 | 生活困窮者自立支援事業 | 生活保護に至る前段階での自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対する自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業や住居確保給付金の支給事業を実施する。 | | |
| | | 指標名 自立支援件数 | | |
| | 基準値 (令和元年度) | | | |
| | 59件 | | | |
| | 取組内容 | | | |
| | 目標値 | | | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援事業を行う。 予算額 29,110 千円 | 120件 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 120件 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 120件 |
| | 生活援護グループ | | | |
| 2 | 生活困窮者の子どもの学習支援事業 | 貧困の連鎖を打ち切るため、生活困窮者の児童・生徒（中学校1～3年生、小学校4～6年生）に対して、子どもの学習支援事業を実施する。 | | |
| | | 指標名 支援する子どもの数 | | |
| | 基準値 (令和元年度) | | | |
| | 13人 | | | |
| | 取組内容 | | | |
| | 目標値 | | | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・貧困の連鎖を防ぐため、小中学生を対象に福祉的な学習支援を行う。 予算額 4,000 千円 | 27人 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 27人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 27人 |
| | 生活援護グループ | | | |

【施策9】

快適な魅力ある都市空間の形成

将来あるべき姿（めざす方向性）

誰もが安全・安心で快適に住み続けられる魅力あるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|------------------|---|------------------------------|
| (1) 魅力あるまちづくりの推進 |   | II-③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|-----------------------------|----------------|
| 1 まちの活性化推進事業 (狭山ニュータウン地区再生推進計画の推進) | 「狭山ニュータウン地区再生推進計画」に基づき、市・住民等・事業者がそれぞれの役割分担のもと、連携しながら、狭山ニュータウン地区の再生に向けた取組みを推進する。 | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・再生推進計画に基づき、再生に向けた取組みを推進する。 | - |
| | 新規・継続 | 予算額 242 千円 | - |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 継続 | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 継続 | - |
| 企画・情報政策グループ | | | |
| 2 立地適正化計画策定事業 | 「大阪狭山市都市計画マスタープラン」で示す将来都市構造を実現するため、居住誘導区域、都市機能誘導区域、公共交通ネットワークの方針、誘導施策、防災指針等の検討を行い、持続可能かつ近隣市等と広域でつながる都市空間の形成をめざす具体的な戦略的な方針として、立地適正化計画を策定する。 | | 指標名 |
| | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・立地適正化計画を策定する。 | 100% |
| 新規・継続 | 予算額 3,392 千円 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 - | - | |
| 担当グループ | 令和8年度 - | - | |
| 都市政策グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----------|--|---|----------------|----------------|
| 3 | 都市計画事業検討調査事業 | 近畿大学病院等跡地の民間開発に伴う周辺整備（現近畿大学病院等所有地以外の土地を含む）と合わせ、都市計画道路（狭山河内長野線）等の整備を一体的に検討し、当該エリアの魅力向上を図るため、整備手法の検討など必要となる事前調査を行う。 | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・跡地取得企業等との協議状況をふまえ、事業手法等の調査検討や必要となる手続等を行う。 | 予算額 12,000 千円 | 100% |
| | 新規・継続 | | | |
| 4 | 狭山池周辺エリアにおけるにぎわい創出事業 | 「水とみどりのネットワーク構想」における重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）において準則特例等を活用し、移動販売車等の出店など同エリアのにぎわいづくりと屋外空間の活用に取り組む。 | | 指標名 |
| | | | | イベント出店回数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| 令和6年度 | ・狭山池において準則特例等を活用し、市民団体や民間事業者が主体となり、狭山池においてエリアマネジメントの手法により、様々なにぎわい創出事業をスタートさせる。 | 予算額 1,267 千円 | 4回 | |
| 新規・継続 | | | | |
| 令和5年度新規事業 | | | | |
| 令和6年度新規事業 | 継続 | | 4回 | |
| 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | | | | |
| 公園緑地グループ | 令和8年度 | 継続 | 4回 | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-----------------------|---|-----------------------------|
| (2) 地域の特性に応じたまちづくりの推進 |   | Ⅱ-③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----------|--------------------------|---|--------------|----------------|
| 1 | 狭山池周辺エリアにおけるにぎわい創出事業（再掲） | 「水とみどりのネットワーク構想」における重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）において準則特例等を活用し、移動販売車等の出店など同エリアのにぎわいづくりと屋外空間の活用に取り組む。 | | イベント出店回数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・狭山池において準則特例等を活用し、市民団体や民間事業者が主体となり、狭山池においてエリアマネジメントの手法により、様々なにぎわい創出事業をスタートさせる。 | 予算額 1,267 千円 | 4回 |
| | 新規・継続 | | | |
| 令和5年度新規事業 | | | | |
| 令和6年度新規事業 | 継続 | | 4回 | |
| 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | | | | |
| 公園緑地グループ | 令和8年度 | 継続 | 4回 | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-----------------|--|-----------------------------|
| (3) | 安全・安心な住環境の維持・保全 | 11 住み続けられるまちづくりを  | Ⅱ－③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|---|---|-------------|
| 1 民間建築物の耐震対策事業 | 大阪狭山市建築物耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に建築された民間建築物について、耐震診断・木造住宅耐震改修（木造住宅耐震改修設計を含む）費用の一部を補助し、震災に強いまちづくりをめざす。 また、近年増加してきている空家の除却費用の一部にも補助し、周辺の生活環境の保全を図る。 | | 耐震診断年間補助総件数 |
| | | | 基準値（令和元年度） |
| | | | 8件 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・特定既存耐震不適格建築物の耐震診断補助、木造住宅の耐震診断補助 ・木造住宅の改修補助（耐震改修設計補助を含む） ・既存民間建築物の除却補助 予算額 14,982 千円 | 25件 |
| | 新規・継続 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 ■ 継続事業 | 令和7年度 継続 | | 25件 |
| 担当グループ | 令和8年度 継続 | | 25件 |
| 都市政策グループ | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-------------|--|-----------------|
| (4) | 安全で安定した水の供給 | 6 安全な水とトイレを世界中に  11 住み続けられるまちづくりを  | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|--|------------|
| 1 水循環計画推進事業 | 循環型社会の構築、治水対策や流域マネジメントの推進など、「水」に関わる施策等を集約した「大阪狭山市水循環計画」に対する取組みを推進する。 | | 取組み実施数 |
| | | | 基準値（令和元年度） |
| | | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・大阪狭山市水循環計画の周知とともに、「3つの柱と8つの施策」に沿って、今後の取組みについて関係者と連携し、施策を促進する。 予算額 262 千円 | 55件 |
| | 新規・継続 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 ■ 継続事業 | 令和7年度 継続 | | 60件 |
| 担当グループ | 令和8年度 継続 | | 65件 |
| 下水道・水路グループ | | | |

【施策10】

便利で快適な道路交通環境の形成

将来あるべき姿（めざす方向性）

安全で快適な道路環境と利便性の高い交通環境が整ったまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------------|---|-----------------------------|
| (1) 安全で快適な道づくりの推進 |   | Ⅱ－③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|--|----------------|
| 1 道路舗装長寿命化事業 | 車道のひび割れやわだち掘れなどを解消し、通行者が安全に利用できるよう、幹線道路等の舗装修繕を行う。 | | 要舗装補修延長 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 1,140m |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・廿山高蔵寺線舗装修繕工事（第二工区） ・東池尻6号線舗装修繕工事 予算額 23,500 千円 | 0m |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - |
| 道路グループ | | | |
| 2 橋梁長寿命化事業 | 橋梁崩落による死亡事故を未然に防ぐ必要があることから、令和3年度は26橋、令和4年度は45橋の近接目視点検を実施した際に『Ⅱ 予防保全段階』と診断された橋梁について、断面修復や漏水対策を行う。 | | 指標名 |
| | | | 橋梁修繕数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・新池橋外改修工事（新池橋、三津屋川10-4橋、三津屋川11-1橋、三津屋川側道橋） 予算額 5,000 千円 | 4件 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・半田橋改修工事 | 1件 |
| 担当グループ | 令和8年度 | ・橋梁点検（45橋） | 0件 |
| 道路グループ | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|---------------|---|--------------------------------|
| (2) | 人にやさしい交通環境の実現 |  | II - ③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|------------------------------------|------------|---|------|----------------|
| 1 | 交通安全施設整備事業 | 通行者の安全を確保するため、既存道路を改良するなど、歩行者空間を確保する。また、府道泉大津美原線及び府道河内長野美原線の渋滞の解消に向け、取組みを進める。 | | 歩道整備延長 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 20m | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・西除川河川改修事業負担金 ・廿山高蔵寺線道路拡幅工事 ・府道泉大津美原線用地測量 ・府道河内長野美原線用地測量 ・狭山東村線歩道改良工事 ・東築真木12号線歩道整備工事 ・西池尻59号線歩道改良工事 ・狭山ニュータウン歩道交通安全対策工事 | 590m | |
| | 新規・継続 | 予算額 234,672 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | - | - | |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | | | |
| ■ 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 道路グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-----------|--|--------------------------------|
| (4) | 交通安全対策の推進 |  | II - ③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|------------------------------------|---------------|--|------|----------------|
| 1 | 運転免許証自主返納支援事業 | 高齢ドライバーによる事故を未然に防ぐため、運転免許証の自主返納を検討している75歳以上の高齢ドライバーに対し、返納後の生活で公共交通を利用いただけるよう、交通系ICカードを活用した補助制度を創設し、返納を後押しする。 | | 本制度活用者数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICOCAカードの新規購入またはチャージにかかる費用を補助（上限5,000円）する。 | 100人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 600 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | 継続 | 100人 | |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | | | |
| ■ 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 道路グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|------------------|---|--|----------------|--------|
| 2 | 交通安全施設整備事業 (再掲) | <p>通行者の安全を確保するため、既存道路を改良するなど、歩行者空間を確保する。 また、府道泉大津美原線及び府道河内長野美原線の渋滞の解消に向け、取組を進める。</p> | | 指標名 |
| | | | | 歩道整備延長 |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 20m | |
| | 令和6年度 | ・西除川河川改修事業負担金 ・甘山高蔵寺線道路拡幅工事 ・府道泉大津美原線用地測量 ・府道河内長野美原線用地測量 ・狭山東村線歩道改良工事 ・東築奕木12号線歩道整備工事 ・西池尻59号線歩道改良工事 ・狭山ニュータウン歩道交通安全対策工事 | 目標値 | |
| | 新規・継続 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| 担当グループ 道路グループ | 令和8年度 | - | - | |

予算額 234,672 千円

将来あるべき姿（めざす方向性）

狭山池をはじめとする個性豊かな水とみどりの景観と人々の生活や都市活動との調和を図りながら、うるおいのある快適なまちをめざします。

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------------|---|-----------------|
| (1) | 憩える公園、遊べる公園の整備 |  | I - ① 出産・子育ての支援 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|----------|--|--|---|------------|------|
| 1 | 市内公園遊具設置事業 | 公園施設長寿命化計画に基づき、狭山第1公園等の老朽化した公園遊具等を、地域や利用者のニーズ、安全性等を踏まえ更新する。 | | 遊具改修公園数 | 1件 |
| | | 取組内容 | | 目標値 | 4件 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具のうち、池之原第1公園、大野台第5公園、大野台第11公園、大野第3公園の遊具の改修を行う。 予算額 35,300 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・引き続き、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具を地域や利用者のニーズ、安全性等を踏まえ更新していく。 | | 未定 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | | 未定 |
| 公園緑地グループ | | | | | |
| 2 | 公園施設長寿命化計画改定事業 | 「大阪狭山市公園施設長寿命化計画」（計画年度：平成27年度～令和6年度）が、令和6年度末で計画期間である10年を満了することから、国の公園施設長寿命化計画策定指針（平成30年度改定）を踏まえ、計画を改定する。 | | 指標名 | 進捗率 |
| | | 取組内容 | | 基準値（令和元年度） | - |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・「大阪狭山市公園施設長寿命化計画」を策定する。 予算額 10,660 千円 | 目標値 | 100% |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 | - | | - |
| 公園緑地グループ | | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------|---|-----------------|
| (2) | みどりの景観整備 |  | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|---|---|----------------|
| 1 | 公園緑地維持管理事業 | 市民がみどりを身近に感じられるよう、街路樹の補植や剪定等を行い、維持保全に努める。 | | 捕植や剪定の本数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 500本 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・街路樹の補植や剪定等を行い、維持保全に努める。 予算額 13,600 千円 | 500本 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 500本 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 500本 | |
| 公園緑地グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-----------------|---|---------------------|
| (3) | 水とみどりのネットワークの形成 |   | Ⅲ－①地域資源を活かしたまちの魅力強化 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|---|--|----------------|
| 1 | 狭山池周辺エリアにおけるにぎわい創出事業（再掲） | 「水とみどりのネットワーク構想」における重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）において準則特例等を活用し、移動販売車等の出店など同エリアのにぎわいづくりと屋外空間の活用に取り組む。 | | イベント出店回数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | － | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・狭山池において準則特例等を活用し、市民団体や民間事業者が主体となり、狭山池においてエリアマネジメントの手法により、様々なにぎわい創出事業をスタートさせる。 予算額 1,267 千円 | 4回 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 4回 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 4回 | |
| 公園緑地グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------|---|-----------------|
| (4) | 生物多様性の保全 |   | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|------------------------------------|-------------------------|---|--|----------------|----------|
| 1 | 倒木枯木対策事業 | 平成26年度頃より、ナラ枯れ被害（コナラ等の樹木の病気）等により高木の立枯れが相次いでいることから、倒木の危険性が高く、特に風水害による人的・物的被害が危惧されている樹木の計画的な伐採等を行う。 また、自然災害による倒木等の恐れのある枯木についても計画的に対策を行う。 | | 指標名 | |
| | | | | 伐採本数 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | 29本 |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・倒木の危険性が高く、特に風水害による人的・物的被害が危惧されている樹木の計画的な伐採等を行う。 | 予算額 | 5,000 千円 |
| 新規・継続 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | | 令和7年度 | 継続 | | 未定 |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | 令和7年度 | 継続 | | 未定 |
| ■ 継続事業 | | 令和8年度 | 継続 | | 未定 |
| 担当グループ | | | | | |
| 公園緑地グループ | | | | | |
| 2 | クビアカツヤカミキリ防除対策事業 | 平成27年度からクビアカツヤカミキリによる樹木への被害が発生しており、本市北部を中心に近年被害が拡大している。 この被害拡大を最小限に抑えるため防除対策を実施し、市内の公園等に植栽しているサクラの健全な育成と保全を図る。 | | 指標名 | |
| | | | | 防除対策をした樹木数 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | 311本 |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・被害木への薬剤注入、伐採、ネット巻きを実施する。 | 予算額 | 5,000 千円 |
| 新規・継続 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | | 令和7年度 | 継続 | | 250本 |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | 令和7年度 | 継続 | | 250本 |
| ■ 継続事業 | | 令和8年度 | 継続 | | 250本 |
| 担当グループ | | | | | |
| 公園緑地グループ | | | | | |
| 3 | クビアカツヤカミキリ対策事業 | クビアカツヤカミキリによる樹木への被害拡散防止対策のため被害樹木の所有者又は管理者に登録薬剤及び資材を配布する。 | | 指標名 | |
| | | | | 配布件数(登録薬剤及び資材) | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | — |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・ホームページ等で被害拡散防止の周知をするともに、申請のあった被害樹木の所有者に対し登録薬剤及び資材を配布する。 | 予算額 | 322 千円 |
| 新規・継続 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | | 令和7年度 | 継続 | | 30件 |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | 令和7年度 | 継続 | | 30件 |
| ■ 継続事業 | | 令和8年度 | 継続 | | 30件 |
| 担当グループ | | | | | |
| 生活環境グループ | | | | | |

【施策12】

地域から始める地球にやさしい環境づくり

将来あるべき姿（めざす方向性）

狭山池をはじめとする個性豊かな水とみどりの景観と人々の生活や都市活動との調和を図りながら、うるおいのある快適なまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|--------------|---|-----------------|
| (1) 低炭素社会の実現 |      | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|---|----------------|
| 1 環境啓発事業 | 地球温暖化対策の普及啓発を図るため、「エコ川柳コンテスト」の実施や環境啓発イベント「エコフェスタおおさかさやま」を開催し、環境問題を身近なものとして捉え、関心を持つことで、一般家庭における取組みを促進する。 | | エコ川柳申込者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 216人 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・エコ川柳コンテストを実施する。 ・エコフェスタおおさかさやまを開催する。 予算額 46 千円 | 200人 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 200人 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 200人 |
| 生活環境グループ | | | |
| 2 地球温暖化対策設備導入費促進事業 | 地球温暖化対策に対する市民の積極的な取組みを促進するため、家庭用燃料電池コージェネレーション設備、家庭用リチウムイオン蓄電池設備に加え、新たに電気自動車充電設備と電気自動車に蓄えられた電力を家庭用に活用できる電気自動車等充放電設備（V2H）を対象とし、いずれかを導入した家庭にさやりんポイントを付与する。 | | 指標名 |
| | | | 設置モニター件数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 96件 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| 令和6年度 | ・本市における地球温暖化対策の一環として、再生可能エネルギー資源の利活用及び住宅の省エネルギー化の促進を図るため、対象の設備を設置された方にさやりんポイントの付与を行う。 予算額 3,000 千円 | 100件 | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 100件 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 100件 |
| 生活環境グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|--|------------------------------|--|--|------|
| 3 | 地球温暖化対策実行計画（事務事業編・区域施策編）策定事業 | 第3次大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（計画期間：令和2年度～令和6年度）が令和6年度末で計画期間を満了することから、より発展した環境都市をめざすため、事務事業編に区域施策編を加え、住民・事業者も含む排出温室効果ガスの排出削減計画を策定する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 （令和元年度） | |
| | | | - | |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・社会情勢等を踏まえ、新たに計画を策定する。 予算額 3,080 千円 | 100% |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 生活環境グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------|---|-----------------|
| (2) | 循環型社会の構築 |    | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|--|------------|--|---|----------|
| 1 | ごみ減量対策推進事業 | 市民・事業者・行政が主体となり、ごみの排出抑制を図ることで、減量化を推進する。また、資源ごみの再資源化に向けた分別を徹底し、適正なごみ処理を推進するとともに、リサイクル資源の収集運搬、選別処理、再商品化の業務委託、たい肥化容器の貸与等を実施する。さらに、市民公募による廃棄物減量等推進員との協働によるごみ減量対策推進会議において、ごみ減量に関する調査・研究を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | ごみ減量化目標率 |
| | | | 基準値 （令和元年度） | |
| | | | 16% | |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・ごみ減量対策推進会議によるごみ減量化及び再資源化を推進する。 予算額 1,550 千円 | 30% |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 33% | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 36% | |
| 生活環境グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-----------|---|-----------------|
| (3) | 環境美化・公害対策 |   | |

| 事業名 | | 事業概要 | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-----|-----|--|---------------|-------------|--|-----|------|--|-----|
| 1 | 公害対策事業 | 事業所に係る騒音、振動、悪臭、水質、大気及び土壌関係等に関する届出受理及び指導等を行う。また、市内河川・水路の実態を把握するため、水質検査を実施する。さらに、市内の幹線道路等の実態を把握するため、騒音調査等を実施する。 | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所への年間立入検査件数</td> <td>基準値 (令和元年度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10件</td> </tr> <tr> <th colspan="2">取組内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </tbody> </table> | | 指標名 | | 事業所への年間立入検査件数 | 基準値 (令和元年度) | | 10件 | 取組内容 | | 目標値 |
| | 指標名 | | | | | | | | | | | |
| | 事業所への年間立入検査件数 | 基準値 (令和元年度) | | | | | | | | | | |
| | | 10件 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | | | | | | | | | | | |
| 令和6年度 | ・水質分析調査業務、騒音調査業務、振動調査業務、自動車騒音面的評価業務を行う。 ・また、広域事務局と連携し、事業所への立入検査を実施し、適正に公害規制事務を執行する。 予算額 3,850 千円 | 10件 | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 10件 | | | | | | | | | |
| 担当グループ 生活環境グループ | 令和8年度 | 継続 | 10件 | | | | | | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|------------|--|-----------------|
| (4) | 公共下水道整備の推進 |    | |

| 事業名 | | 事業概要 | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--------|-----|--|------|-------------|--|--------|------|--|-----|
| 1 | 公共下水道整備事業 (汚水) | 本市の持続的かつ健全な発展、公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的に事業を進める。整備後、老朽化の進んでいる施設も多くあることから、今後は予防保全型による包括的な維持管理を行い、下水道ストックマネジメント計画に基づく施設の点検・調査や改築・更新のほか、下水道施設の耐震化を進める。また、健全な下水道事業の経営と運営に努める。 | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震化率</td> <td>基準値 (令和元年度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>51.51%</td> </tr> <tr> <th colspan="2">取組内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </tbody> </table> | | 指標名 | | 耐震化率 | 基準値 (令和元年度) | | 51.51% | 取組内容 | | 目標値 |
| | 指標名 | | | | | | | | | | | |
| | 耐震化率 | 基準値 (令和元年度) | | | | | | | | | | |
| | | 51.51% | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | | | | | | | | | | | |
| 令和6年度 | ・下水道ストックマネジメント計画に基づく既存施設の点検・調査や改築・更新ならびに下水道総合地震対策計画に基づく下水道施設の耐震化を行う。 予算額 85,200 千円 | 56.16% | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 56.86% | | | | | | | | | |
| 担当グループ 下水道・水路グループ | 令和8年度 | 継続 | 57.56% | | | | | | | | | |

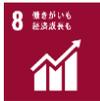
| 事業名 | | 事業概要 | | |
|--|-------------------|--|--|----------------|
| 2 | 公共下水道整備事業 (雨水) | 近年の異常気象により頻発する集中豪雨での浸水被害から市民の生命と財産を守るため、既存施設を有効に活用しながら効率的な雨水排除、雨水貯留池の設置などにより、効果的な雨水整備を進める。 また、下水道総合地震対策計画に基づき、主要な雨水幹線から耐震化を進める。 | | 指標名 |
| | | | | 雨水整備率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | 44.8% |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・雨水幹線管渠の計画、整備事業を進める。 予算額 199,700 千円 | 46.1% |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 47.1% | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 47.1% | |
| 下水道・水路グループ | | | | |

将来あるべき姿（めざす方向性）

農業や商工業などの産業が活性化し、活気にぎわいのある魅力的なまちをめざします。

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-------|---|-------------------------------|
| (1) | 農業の振興 |     | IV-①地域産業の活性化 IV-③地域産業の魅力向上 |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|---------------|--------------------------------------|---|----------------|---------|
| 1 | 効率的な農地貸借促進に係る地域計画策定事業 | 地域農業のあり方や農地利用の姿を明確化した「地域計画」について、令和7年度までに策定することが義務付けられていることから、市街化調整区域の所有者への意向調査、分析及び目標地図の素案を踏まえ、地域計画を策定する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 令和6年度 | ・地域計画の策定に向け、市街化調整区域の農地所有者などへの意向調査、分析及び目標地図の素案作成を行う。 | 目標値 | |
| | 100% | 予算額 0 円 | | |
| 新規・継続 | ■ 令和5年度新規事業 □ 令和6年度新規事業 □ 継続事業 | | | |
| 令和7年度 | | - | - | |
| 担当グループ | | | | |
| 令和8年度 | | - | - | |
| 産業にぎわいづくりグループ | | | | |
| 2 | 多面的機能支払交付金交付事業 | 都市化の進む大阪地域において、農地の減少が著しく、農家の高齢化及び担い手不足等が懸念されていることから、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対する交付金を交付し、地域資源の適切な保全管理を推進する。 | | 指標名 |
| | | | | 地域活動実施率 |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 令和6年度 | ・多面的機能支払交付金を交付する。 | 目標値 | |
| | 100% | 予算額 157 千円 | | |
| 新規・継続 | | | | |
| 令和7年度 | 継続 | | 100% | |
| 担当グループ | | | | |
| 令和8年度 | 継続 | | 100% | |
| 産業にぎわいづくりグループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|--------|---|---|---|
| (2) | 商工業の振興 |  |  | III-①地域資源を活かしたまちの 魅力強化 IV-①地域産業の活性化 IV-③地域産業の魅力向上 |

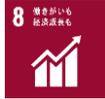
| 事業名 | | 事業概要 | | | |
|-------|---|--|--|---|----|
| 1 | 創業支援補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 産業にぎわいづくりグループ | 認定創業支援等事業計画における特定創業支援事業において、市と連携する機関が実施する創業講座・個別相談支援を受け、特定創業支援事業による証明を受けて、本市内で創業する者に対し、創業者への支援を目的として、創業支援補助金を交付する。 | | 指標名 補助金交付件数 基準値 (令和元年度) - 目標値 | |
| | | 令和6年度 | ・特定創業支援事業による証明を受けた本市内で創業する者に対し補助金を交付する。 予算額 3,000 千円 | | 5件 |
| | | 令和7年度 | 継続 | | 5件 |
| | | 令和8年度 | 継続 | | 7件 |
| | | 2 | 大阪狭山市地域活性化事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 産業にぎわいづくりグループ | 大阪狭山市商工会の大阪狭山市マスコットキャラクター「さやりん」の運営事業、「大阪狭山ブランド」運営事業に対し、補助金を支出する。 | |
| 令和6年度 | ・「さやりん」運営事業及び大阪狭山ブランド運営事業を行う。 ・万博機運醸成に向けた周知・啓発を行う。 予算額 2,000 千円 | | | 5品 | |
| 令和7年度 | ・「さやりん」運営事業及び大阪狭山ブランド運営事業を行う。 | | | 5品 | |
| 令和8年度 | 継続 | | | 5品 | |
| 3 | 技能検定受検料補助事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 産業にぎわいづくりグループ | | | 市内の事業者が、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度である技能検定を、従業員に事業者負担で受検させた場合に、受検料の一部を補助する。 | |
| | | 令和6年度 | ・技能検定受検手数料を補助する。 予算額 75 千円 | | 7人 |
| | | 令和7年度 | 継続 | | 7人 |
| | | 令和8年度 | 継続 | | 7人 |

| 事業名 | | 事業概要 | | | |
|-------|------------------------------|---|----------------------------------|----------------|---------|
| 4 | 移動販売等導入事業補助金交付事業 | 移動販売に取り組む事業者に対し、設備導入等への補助制度を創設し、産業の振興によるにぎわいの創出を図る。 | | 指標名 | |
| | | | | 補助件数 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | | — | |
| | | 取組内容 | | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・市内で移動販売等を導入する者・事業者に対し、補助金を交付する。 | 予算額 1,500 千円 | 5件 |
| 新規・継続 | | | | | |
| 5 | さやりんポイント発行事業（プラットフォーム管理） | 本市独自の地域ポイント「さやりんポイント」を発行し、市内事業者での商品の購入やサービスの利用を促進し、地域経済の活性化及び市民の行政参加の促進や関係人口及び交流人口の増加を図る。 | | 指標名 | |
| | | | | 取扱事業数 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | | — | |
| 取組内容 | | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | ・システムの適切な管理運用及びポイントの利用促進を図る。 | 予算額 10,072 千円 | 7事業 | | |
| 新規・継続 | | | | | |
| 令和7年度 | 継続 | | 10事業 | | |
| 令和8年度 | 継続 | | 15事業 | | |
| 6 | 市民生活・地域経済活性化事業 | エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民生活への支援、地域経済活性化及び本市独自の地域ポイント「さやりんポイント」の活用促進を図るため、さやりんポイントをチャージすると、チャージ額の30%分のさやりんポイントを追加で付与する。 | | 指標名 | |
| | | | | チャージ件数 | |
| | | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | | — | |
| | | 取組内容 | | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・チャージ額の30%分のさやりんポイントを追加で付与する。 | 予算額 128,804 千円 | 30,000件 |
| 新規・継続 | | | | | |
| 令和7年度 | — | | — | | |
| 令和8年度 | — | | — | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|--|--------------------|--|---|---------|
| 7 | エネルギー価格高騰対策事業者支援事業 | 電気・ガス及び燃料費の高騰により、経営に影響を受ける中小企業等に対し、エネルギー価格高騰の影響緩和を図り、事業の継続を支援するため、電気・ガス及び燃料の使用料に応じた支援金を給付する。 | | 指標名 |
| | | | | 支援金交付件数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・エネルギー価格高騰対策事業者支援金を給付する。 予算額 33,407 千円 | 1,000件 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | — | — | |
| 担当グループ | 令和8年度 | — | — | |
| 産業にぎわいづくりグループ | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|----------------|---|-------------------|
| (3) 雇用の創出・就労支援 |   | IV-②若者や女性などへの就労支援 |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|--|----------|---|---|------|
| 1 | 職業能力開発事業 | 働く意欲がありながら、様々な阻害要因により就職できない就職困難者等を就労に結びつけるため、講座を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 受講者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 16人 | |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・医療事務講座、女性のためのキャリアカウンセリングを実施する。 予算額 667 千円 | 25人 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 25人 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 25人 | |
| 産業にぎわいづくりグループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-------|---|---------------------|
| (4) | 観光の振興 |  | Ⅲ－①地域資源を活かしたまちの魅力強化 |

| 事業名 | | 事業概要 | |
|---------------|--|--|---|
| 1 | 北条五代観光推進協議会参加事業 | 北条氏にゆかりの市町村が連携して北条氏の多様な偉績や魅力を活用した観光事業を展開し、加盟する13市町の活性化を図る。 | |
| | | 取組内容 | |
| | 令和6年度 | ・北条五代観光推進協議会の総会、幹事会、小田原市名物市に参加することにより大阪狭山市、狭山藩北条氏の情報を発信する。 | 指標名 大阪狭山市のPR回数 基準値 (令和元年度) 5回 |
| | 新規・継続 | 予算額 80 千円 | 目標値 3回 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 3回 |
| 産業にぎわいづくりグループ | | | |

【施策14】

生涯学べる環境づくり

将来あるべき姿（めざす方向性）

誰もが生涯学習活動に積極的に参加し、学習の成果が地域社会で活かされるまちをめざします。体育協会やスポーツ推進委員など地域団体と連携し、いつでも、どこでも、だれでもスポーツを行えるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------|---|-----------------|
| (1) 生涯学習の推進 |   | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|--|----------------|
| 1 生涯学習推進事業 | 市内で実施する講座情報のとりまとめや、市職員が講師として地域に出向く生涯学習出前講座の実施等によって、市民の学びたい、学んだことを役立てたいと思う気持ちをサポートする。 | | 年間総情報件数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 398件 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・生涯学習情報誌「ライフタイム」を発行する。 ・生涯学習出前講座を開催する。 予算額 0 円 | 450件 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 450件 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 450件 |
| 生涯学習グループ | | | |
| 2 公民館推進事業 | 生涯学習の拠点である公民館で、市民の様々な学習ニーズに対応できるように事業内容の充実を図る。 | | 指標名 |
| | | | 公民館利用者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 66,248人 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| 令和6年度 | ・市民の様々な学習ニーズに沿った事業等を企画、実施する。 予算額 75,312 千円 | 78,500人 | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 78,500人 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 78,500人 |
| 生涯学習グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|--|----|-------------------------|
| 3 | 図書館推進事業 | 市民が読書に親しむ機会を提供するとともに、サービス・利便性の向上を推進する。 | | 1人あたり貸出冊数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 6.36冊 |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・読書に親しむ機会を提供し、サービス・利便性の向上を推進する。 | | 7冊 |
| | 新規・継続 | 予算額 88,337 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 7冊 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 7冊 | |
| 生涯学習グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|----------------|---|------------------------------|
| (2) スポーツの普及・振興 |  | Ⅱ-②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|---|--------|--|
| 1 | スポーツ推進事業 | 各種スポーツ教室や大会、イベントの開催を積極的に推進する。 | | 参加人数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 8,360人 |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・各種スポーツ教室等の開催する。 | | 8,700人 |
| | 新規・継続 | 予算額 226 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 8,700人 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 8,700人 | |
| 生涯学習グループ | | | | |
| 2 | パリオリンピック・パラリンピック推進事業 | 2024パリ五輪新競技であるブレイキンの出場権を獲得した本市出身の特命大使半井重幸選手を応援するため、本市における機運醸成事業として、庁舎懸垂幕等の製作・掲示、庁舎入口付近に特設コーナーの設置や、総合体育館にてパブリックビューイング等を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | パブリックビューイング参加者数 基準値 (令和元年度) - |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・8月開催予定のブレイキン競技大会にて、パブリックビューイングを開催する。 ・機運醸成事業として懸垂幕等を設置する。 | | 300人 |
| | 新規・継続 | 予算額 1,326 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 生涯学習グループ | | | | |

【施策15】

市民文化・歴史文化の振興

将来あるべき姿（めざす方向性）

誰もが文化・芸術活動に積極的に参加し、その成果が地域社会で活かされるまちをめざします。郷土への誇りと愛着を持ち、歴史文化遺産を未来へ継承するまちをめざします。

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------|---|-----------------|
| (1) | 文化・芸術の振興 |  | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|--------------------------------------|---|
| 1 | 文化会館活性化事業 | 公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団の活動を支援し、事業団と市民との協働による文化会館の活性化を図る。 | | 年間総補助金交付事業数 基準値 (令和元年度) 13件 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・文化会館活性化事業費補助金を交付する。 予算額 1,700 千円 | 10件 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 10件 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 10件 |
| | 公民連携・協働推進グループ | | | |
| 2 | 文化会館施設長寿命化事業 | 市民が安全で快適に利用できる文化会館をめざし、適切に設備の更新、維持管理を行う。 | | 指標名 文化会館施設利用率 基準値 (令和元年度) 77.2% |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・レストランの製氷機を更新する。 予算額 1,752 千円 | 77.6% |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・必要に応じて設備の更新や改修工事を行う。 | 77.6% |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 77.6% |
| | 公民連携・協働推進グループ | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|--------------|---|---------------------|
| (2) | 歴史文化遺産の保存・活用 |  | Ⅲ－①地域資源を活かしたまちの魅力強化 |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|--|------------|
| 1 | 狭山藩北条氏魅力発信事業 大阪狭山市の歴史文化とまちの魅力を発信するため、毎年5月に開催される「小田原北条五代まつり」をはじめ機会をとらえ、パンフレット等を配布する。 | 取組内容 令和6年度 ・狭山藩北条氏を紹介するパンフレットを作成（再版）する。 予算額 300 千円 | 指標名 |
| | | | パンフレット配布回数 |
| | 基準値 (令和元年度) | | |
| | － | | |
| | 目標値 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 生涯学習グループ | 令和7年度 | ・機会をとらえPRを行う。 | 3回 |
| | 令和8年度 | 継続 | 3回 |
| 2 | 史料調査事業 近年、複数の市内外の方から、本市の歴史を知るうえで重要な史料の寄託、寄贈を受けた。これらの史料は、収蔵・保管するだけでなく、その内容を正確に把握するため調査し、適切に保存する必要があるため、その作業を5ヶ年で実施する。 | 取組内容 令和6年度 ・池守田中家の史料について、調査を実施する。 予算額 3,147 千円 | 指標名 |
| | | | 進捗率 |
| | 基準値 (令和元年度) | | |
| | － | | |
| | 目標値 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 生涯学習グループ | 令和7年度 | 継続 | 100% |
| | 令和8年度 | － | － |
| 3 | 郷土資料館展示事業 市民の郷土愛を深めるとともに、本市の魅力を市内外に発信するため、企画展を開催する。 | 取組内容 令和6年度 ・「池守田中家」をテーマに特別展を開催する。 予算額 3,763 千円 | 指標名 |
| | | | 来場者数 |
| | 基準値 (令和元年度) | | |
| | 8,916人 | | |
| | 目標値 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 生涯学習グループ | 令和7年度 | ・テーマを設定し、本市の文化財の魅力を発信する企画・展示を実施する。 | 9,500人 |
| | 令和8年度 | 継続 | 9,600人 |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|----------|--|--|--|-----|
| 4 | 池守田中家保存活用事業 | 国史跡狭山池の追加指定を受けた池守田中家の保存と活用を図ることを目的に、用地取得のための測量・登記等に向けた物件調査や樹木の伐採を行う。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | 令和6年度 | ・測量・登記等に向けた物件調査を実施する。 ・樹木の伐採を行う。 予算額 7,148 千円 | 指標名 進捗率 基準値 (令和元年度) - 目標値 | |
| | 新規・継続 | | 10% | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・史跡の公有地化を実施する。 | 20% |
| | 担当グループ | 令和8年度 | ・池守田中家保存活用計画を策定する | 30% |
| 生涯学習グループ | | | | |

【施策16】

互いに人権を尊重する共生社会づくり

将来あるべき姿（めざす方向性）

すべての人が年齢、性別及び性自認・性的指向、障がいの有無、人種、民族、出自、宗教、経済的地位等を理由に差別、排除されることなく、かけがえのない存在として尊重される多文化共生のまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------------|---|-----------------|
| (1) 人権尊重社会の確立 |     | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|--|----------------|
| 1 人権行政推進事業 | あらゆる差別をなくし、すべての人に基本的人権の尊重について正しい理解と認識を深めてもらい、人権課題を自分自身の問題として取り組んでもらえるよう広く市民に啓発する。また、すべての人々の人権擁護を図るための相談事業を実施する。 | | 人権協会総加入会員数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 40会員 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・大阪狭山市人権協会会員が、それぞれの団体で主体的に人権啓発活動を実施する。 予算額 2,087 千円 | 60会員 |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 60会員 |
| 担当グループ 広報広聴・人権啓発グループ | 令和8年度 | 継続 | 60会員 |
| 2 人権ユニバーサル事業 | 学齢期における障がい者への理解促進と、障がいの有無を問わず、誰もが安心して暮らすことができるインクルーシブ社会の実現をめざし、市内小学校2校で、車いすバスケットボール選手とともにプレーできる「車いすバスケットボール」の体験会を開催する。 | | 指標名 |
| | | | 参加者アンケート満足度 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| 令和6年度 | ・人権擁護委員と講師の障がい理解の講話とユニバーサルスポーツの体験を通じて、障がいのある方とのかかわり方を学ぶ。 予算額 360 千円 | 80% | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 80% |
| 担当グループ 広報広聴・人権啓発グループ | 令和8年度 | 継続 | 80% |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-------------|---|-----------------|
| (2) | 男女共同参画社会の確立 |     | |

| 事業名 | 事業概要 | |
|-----------------|--|--|
| 1 男女共同参画推進事業 | 男女共同参画推進プランに基づき、関係部局との連携を図り、実効性のある施策を総合的に展開する。また、男女共同参画推進条例の理念の普及をめざし、市民と協働し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組むとともに、女性のための相談事業を行う。 | |
| | 指標名 審議会などの女性委員の割合 基準値 (令和元年度) 28% | |
| | 取組内容 令和6年度 ・第4期男女共同参画推進プランに基づき、期間の進捗状況を検証し、計画の進行を図る。 予算額 6,536 千円 | |
| | 新規・継続 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | |
| | 担当グループ 令和7年度 継続 令和8年度 継続 | |
| 2 女性のための相談事業 | 望まない孤独や孤立、DV被害や生活困窮など、不安や課題を抱える女性に対し、女性弁護士等による「女性のくらし特別相談会」や、専用電話相談「女性のためのよりそいホットライン」、女性カウンセラーによる「女性のための相談」など、相談者の気持ちに寄り添った支援を図るとともに、生理用品の提供を通じて、あらゆる年代の方へ相談の機会を周知し、社会から孤立することがないよう支援する。 | |
| | 指標名 新規相談実施者数 (電話相談件数含む) 基準値 (令和元年度) - | |
| | 取組内容 令和6年度 ・「女性のくらし特別法律相談会」や「女性のためのよりそいホットライン」を実施する。 予算額 2,529 千円 | |
| | 新規・継続 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | |
| | 担当グループ 令和7年度 継続 令和8年度 継続 | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|---------|---|-----------------|
| (3) | 恒久平和の希求 |   | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 | |
|--|--|---|--------------------|---|
| 1 慰霊碑斎場施設長寿命化事業 | 戦争体験を後世に継承し、平和の尊さを発信する象徴的な施設である慰霊碑斎場について、参拝者の安全確保並びに建物の維持保全のための補修工事を行う。 | | - | |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | 令和6年度 | ・慰霊碑斎場について、参拝者の安全確保並びに建物の維持保全のための補修工事を行う。 予算額 718 千円 | - | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| | 担当グループ 生活支援グループ | 令和8年度 | - | - |
| 2 平和事業 | 「核兵器廃絶・平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるための啓発や学習を行う。 | | 指標名 | |
| | | | 平和を考える市民のつどいの総参加者数 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 300人 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| 令和6年度 | ・大阪狭山市人権協会が提案する平和啓発事業を開催し、市民の視点で平和の尊さを伝える。 予算額 945 千円 | 400人 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 400人 | |
| 担当グループ 広報広聴・人権啓発グループ | 令和8年度 | 継続 | 400人 | |
| 3 平和啓発学習事業 | 次世代への戦争体験の継承と平和啓発を目的とした研修を大阪狭山市人権協会、講師と連携して実施する。 また、研修の中で、「平和を考える市民のつどい」において、参加者による成果発表を実施する。 | | 指標名 | |
| | | | アンケート満足度 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| 令和6年度 | ・フィールドワーク等の平和事業を実施する。 予算額 337 千円 | 80% | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 80% | |
| 担当グループ 広報広聴・人権啓発グループ | 令和8年度 | 継続 | 80% | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------|---|-----------------|
| (4) | 多文化共生の推進 |    | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|--|-----------|--|---|---------------------------------------|
| 1 | 多文化共生推進事業 | 市内に定住する、新たに定住する本邦外出身者に対し、言語、習慣、文化の違い等を理由に生活に困難が生じないよう、やさしい日本語や多言語による情報発信に努めるとともに、市内で活動する日本語読み書き教室の運営支援を行う。 | | 指標名 |
| | | | | 事業アンケートの評価 (平均値) 基準値 (令和元年度) |
| | | | — | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・大阪狭山市教育委員会、大阪狭山市人権協会との連携を図り、日本語読み書き教室の運営支援と多文化共生推進に関する事業を実施する。 | 80% |
| | | | 予算額 80 千円 | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | | 80% |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | | 80% |
| 広報広聴・人権啓発グループ | | | | |

【施策17】

防災・防犯対策の強化

将来あるべき姿（めざす方向性）

市民、事業者、行政が連携し、災害に強いまち、犯罪のない安全なまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------|---|---------------------------------|
| (1) 防災対策の強化 |   | II - ①地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり |

| 事業名 | 事業概要 | | |
|--------------------|--|--|--|
| 1 自主防災組織等活動支援事業 | 自主防災組織等への防災資機材整備購入費や、防災活動に対し補助を行い活動を支援することで、地域の防災力のさらなる向上をめざす。 | | 指標名 防災活動支援補助金活用組織数（延べ） 基準値 （令和元年度） 108組織 |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・防災資機材の購入及び防災活動、地域が自主的に開設する地域一時避難場所に対し、補助金を交付する。 予算額 2,500 千円 | 250組織 |
| | 新規・継続 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 310組織 |
| 危機管理室 | | | |
| 2 自主防災組織育成事業 | 自主防災組織への資機材の貸与を行うことで、市民が安全で安心して暮らせる、災害に強いまちづくりを推進する。 | | 指標名 組織への貸与率（未貸与組織/貸与組織） 基準値 （令和元年度） 96% |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・救助、救出用資機材を購入し、貸与する。 予算額 1,083 千円 | 100% |
| | 新規・継続 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 100% |
| 危機管理室 | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--------|--|--|--------------------------------------|--------------------------|
| 3 | 学校等備蓄推奨事業 | 大規模災害発生時において、学校に待機する場合などに活用することができ、3箇年経過後自宅へ持ち帰り試食等行うことで、家族間での防災意識の高揚を促進し、家庭内での備蓄について勧奨するため、児童、生徒及び教職員に備蓄セットを配布保管する。 | | 配布人数（累計） |
| | | | | 基準値 （令和元年度） 1,962人 |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・小学一年生、小学四年生、中学一年生に備蓄セットを配布する。 | 10,300人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 2,431 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・小学一年生、小学四年生、中学一年生、及び教職員に備蓄セットを配布する。 | 12,400人 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 14,100人 | |
| 危機管理室 | | | | |
| 4 | 自主防災組織組織化促進事業 | 大規模災害が発生した場合に、被害を最小限に食い止めるには地域住民の防災活動が不可欠であり、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という考えのもとに自主防災組織の結成への意識を高め、組織化を促進し、地域防災力の充実に図る。 | | 指標名 |
| | | | | 自主防災組織組織率 |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・自主防災組織結成促進のための各種支援を行う。 | 71.0% | |
| | 新規・継続 | 予算額 261 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 72.0% |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 73.0% | |
| 危機管理室 | | | | |
| 5 | 安全安心スクール事業 | 市民向けに救命・防災・防犯を統合した講習を実施し、安全安心への意識啓発及び知識・技術の向上を図る。 また、「中学生安全安心スクール事業」を実施し、学校との連携により市内中学生に普通救命技能の習得を図り、青少年の防災力の強化を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 安全安心推進リーダー 累計認定者数 |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・地域等で活躍してもらうため、安全安心スクールの全ての講座を受講された安全安心推進リーダーを養成する。 | 137人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 515 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 142人 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 147人 | |
| 危機管理室 | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|--|--|--|
| 6 | 地域防災推進リーダー育成事業 | 自主防災組織のリーダーを育成することにより、さらなる地域防災力の向上が期待できることから、大阪狭山市防災士資格取得支援補助要綱に基づき、防災士資格取得を支援する。 | | 防災士資格取得支援補助人数累計数 基準値 (令和元年度) 25人 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・防災士資格取得支援補助金を交付する。(10人) 予算額 310 千円 | 43人 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 53人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 63人 |
| | 危機管理室 | | | |
| 7 | 災害対策本部運営訓練事業 | 災害発生時に市が設置する災害対策本部で十分な機能が発揮されるよう、より実践的な訓練を実施し、災害対応能力のさらなる向上を図る。 また、災害発生時の迅速かつ的確な対応につなげるため、職員が災害発生時に取るべき行動を平時から確認できるよう、常時携帯可能なカードサイズの「職員用災害時初動マニュアル」を作成する。 | | 指標名 訓練回数 基準値 (令和元年度) - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・災害対応能力を高めるため、より実践的な訓練を実施する。また、職員が災害発生時に取るべき行動をまとめた「職員用災害時初動マニュアル」を作成する。 予算額 590 千円 | 1回 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・災害対応能力を高めるため、より実践的な訓練を実施する。 | 1回 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 1回 |
| | 危機管理室 | | | |
| 8 | 災害ボランティアネット運営事業 | 市が被災した場合や市外で大災害が発生した場合を想定し、市内の各種団体、NPO、企業、学校等の参画により、本事業の推進母体となる「災害ボランティアネット」を運営し、専門アドバイザーの指導助言を得て市社会福祉協議会に委託して実施する。 | | 指標名 ネットワーク会議出席団体数 基準値 (令和元年度) 26団体 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・災害ボランティアネットによる研修、訓練を行うとともに、市民に対し啓発する。 予算額 784 千円 | 33団体 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 34団体 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 34団体 |
| | 福祉政策グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|------------------------------------|-----------------------|--|-----------------------|----------------|
| 9 | 土砂災害特別警戒区域内住宅移転及び補強事業 | 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく、市内の土砂災害特別警戒区域内にある既存住宅を区域外へ移転又は補強に係る費用の一部を補助し、土砂災害からの被害の軽減を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 住宅移転及び補強件数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | 0件 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・既存住宅の移転又は補強を補助する。 | 2件 |
| 新規・継続 | 予算額 6,111 千円 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | 継続 | 2件 | |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | | | |
| ■ 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 2件 | |
| 都市政策グループ | | | | |
| 10 | 水路整備事業 | 老朽化している東池尻一丁目地内水路について、安定した営農の維持を目的に、水路工事を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・東池尻新池送水管渠更生工事を行う。 | 100% |
| 新規・継続 | 予算額 3,000 千円 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | - | - | |
| ■ 令和6年度新規事業 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 下水道・水路グループ | | | | |
| 11 | 新池水路改築事業 | 狭山五丁目地内水路（新池水路）の上流部で豪雨による浸水被害が発生したことを受け、自然災害発生のリスクの軽減を図るため、新池水路の改築工事に係る実施設計業務を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・新池水路改築工事実施設計業務委託を行う。 | 100% |
| 新規・継続 | 予算額 16,025 千円 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | - | - | |
| ■ 令和6年度新規事業 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 下水道・水路グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|------------|-------------------|--|----------------|----------------|
| 12 | ため池ハザードマップ作成事業 | ため池の万一の堤体決壊に備えて、被害軽減を図るため、ハザードマップを作成する。 | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・新池（茱萸木地内）のハザードマップを作成する。 | 100% | |
| | 新規・継続 | 予算額 3,000 千円 | | |
| 13 | ため池等維持管理事業 | 無線遠隔草刈り機を借用し、ため池の草刈りを行っているが、特殊機械であることから、機器を保持する業者が少ないうえ、機器が他所への貸出しや不具合等により利用できない場合があることから、無線遠隔草刈り機を購入し、ため池の草刈りを実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| 令和6年度 | ・無線遠隔操作草刈り機を購入する。 | 100% | | |
| 新規・継続 | 予算額 1,527 千円 | | | |
| 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | - | - | |
| 令和6年度新規事業 | 令和7年度 | - | - | |
| 継続事業 | 令和7年度 | - | - | |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 下水道・水路グループ | 令和8年度 | - | - | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------|---|--------------------------------|
| (2) 防犯対策の強化 |  | Ⅱ - ①地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----------|----------|---|------|-------------------|
| 1 | 防犯活動推進事業 | 安全安心なまちづくりを推進するため、自治会等に対する街頭防犯カメラ設置費用補助、市内主要駅等への街頭防犯カメラ設置、青色防犯パトロール車の配備、各防犯ステーションへの支援等、防犯施策を実施する。 | | 年間市内刑法犯罪 総認知件数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 299件 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・小学校区地域防犯ステーションへの支援、金剛駅西口地域防犯ステーション運営、青色パトロール車配備、市内の街頭防犯カメラの維持管理、通話録音装置貸与。 | 275件 | |
| | 新規・継続 | 予算額 7,442 千円 | | |
| 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | 継続 | 220件 | |
| 令和6年度新規事業 | 令和7年度 | 継続 | 220件 | |
| 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 220件 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 200件 | |
| 危機管理室 | 令和8年度 | 継続 | 200件 | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|-------|--------------|--|---------------------------------------|--------|
| 2 | 街頭防犯カメラ設置事業 | 街頭犯罪の予防及び発生事案の早期解決を目的として、市内主要駅等へ街頭防犯カメラを設置し、防犯環境の充実を図ります。また、地域の防犯活動への支援の強化を図るため、街頭防犯カメラの設置費用及び維持管理費の一部を補助する。 | | 指標名 |
| | | | | 設置台数 |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 30台 | |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・街頭防犯カメラの設置（リース方式）及び自治会等に対して補助金を交付する。 | 目標値 |
| | | | 予算額 4,952 千円 | 55台 |
| 3 | 自動通話録音装置貸与事業 | 還付金詐欺や、振り込め詐欺といった特殊詐欺を未然に防止するため、高齢者等に対して被害防止効果が期待できる自動通話録音装置を貸与する。 | | 指標名 |
| | | | | 累計貸出冊数 |
| | 取組内容 | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 285台 | |
| 新規・継続 | 令和6年度 | ・高齢者等に対して自動通話録音装置を貸与する。 | 目標値 | |
| | | 予算額 0 円 | 831台 | |
| 危機管理室 | 令和7年度 | 継続 | 931台 | |
| | 令和8年度 | 継続 | 1,031台 | |

【施策18】

消防・救急体制の強化

将来あるべき姿（めざす方向性）

令和3年度（2021年度）から堺市への消防事務委託により、一層消防・救急体制が整備され、誰もが安全で安心して暮らせるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|------------------|--|-----------------|
| (1) 消防体制・火災予防の充実 | 11  | |

| 事業名 | 事業概要 | | | |
|--|--|-----------------------------------|----------------|------|
| 1 非常備消防対策事業 | 地域に密着した消防活動の向上及び教養訓練により、消防活動に関する意識の高揚・技術の向上を行い、消防団全体の消防力強化を図る。 | | 指標名 | |
| | | | 消防団員数 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 104人 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・常備消防と連携を強化し、大阪狭山市の消防行政の更なる充実を図る。 | 107人 | |
| 新規・継続 | 予算額 10,636 千円 | | | |
| 3 消防広域化事業 | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 108人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 109人 |
| | 危機管理室 | | | |
| | 地震や火災などの災害から、市民の生命や財産を守り、誰もが安心して暮らせるよう、堺市への消防事務委託により、高度な専門性を有した強固な組織体制を維持する。 | | 指標名 | |
| | | | - | |
| | | 基準値 (令和元年度) | | |
| | | - | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | ・堺市との消防事務運営協議会を通して、堺市と緊密に連携し、大阪狭山市の火災・救助等における消防行政の更なる充実を図る。 | - | | |
| 新規・継続 | 予算額 876,057 千円 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | - | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | - | |
| 危機管理室 | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--------------|---|-----|----------------|
| 3 | 石油貯蔵施設立地対策事業 | 堺泉北臨海工業地帯石油貯蔵施設災害の応援を補うため、石油貯蔵施設立地対策等補助金を受け、各種消防資機材の整備を行い有事に備えるとともに、整備した資機材を有効活用し、本市消防体制の充実強化を図る。 | | 資機材整備件数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 1件 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・災害活動用資器材を購入し、消防団に配備する。 | 3件 | |
| | 新規・継続 | 予算額 4,070 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 1件 | |
| 担当グループ | | | | |
| 危機管理室 | 令和8年度 | 継続 | 2件 | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------------|---|-----------------|
| (2) 救急救命体制の充実 |  3 すべての人に健康と福祉を | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|-------------|--|-----|----------------|
| 1 | 消防広域化事業（再掲） | 地震や火災などの災害から、市民の生命や財産を守り、誰もが安心して暮らせるよう、堺市への消防事務委託により、高度な専門性を有した強固な組織体制を維持する。 | | — |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | — | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・堺市との消防事務運営協議会を通して、堺市と緊密に連携し、大阪狭山市の火災・救助等における消防行政の更なる充実を図る。 | — | |
| | 新規・継続 | 予算額 876,057 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | — | |
| 担当グループ | | | | |
| 危機管理室 | 令和8年度 | 継続 | — | |

将来あるべき姿（めざす方向性）

誰もが安心して消費生活が送れるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|----------|---|-----------------|
| (1) | 消費者保護の推進 |  | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|-----|--|---|---|------|
| 1 | 消費者相談事業 | 消費生活に関して生じた苦情の処理及びあっせん等を行うとともに、消費者である市民が的確な情報や知識の習得が行えるようセミナーを開催し、消費者保護を図る。 | | |
| | | 取組内容 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談員による相談を実施する。 消費生活相談員及び有識者による消費啓発セミナーを開催する。 | 指標名 年間総相談件数 基準値 （令和元年度） 370件 目標値 | |
| | 新規・継続 | 予算額 8,193 千円 | 470件 | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 470件 |
| | 担当グループ 産業にぎわいづくりグループ | 令和8年度 | 継続 | 470件 |

将来あるべき姿（めざす方向性）

市民が市政に参画する環境が整い、市民、事業者、行政がそれぞれの責任と役割を自覚し、協働するまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|--------------------|--|-----------------|
| (1) 市民参加（参画）・協働の推進 | 17  | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 | |
|--|--|------------------|--------------------|------|
| 1 市民との協働事業の拡充 | 市が行うすべての事業について、市民協働の視点を取り入れ、事業の推進体制を見直すため、全グループに対し調査を実施し、取りまとめた結果を公表する。 | | 市民・市民公益活動団体との協働事業数 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | 151件 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・市民との協働事業の拡充を図る。 | 152件 | |
| | 新規・継続 | 予算額 0 円 | | |
| 2 まちづくり円卓会議事業 | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 152件 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 152件 |
| | 公民連携・協働推進グループ | | | |
| | 中学校区を単位として、自治会等や地域内で様々なテーマに基づき活動する団体などが自主的に集まり、地域内の課題の抽出やその解決に向けて取り組むまちづくり円卓会議を支援することにより市民自治の確立をめざす。 | | 指標名 | |
| | | | 事業提案件数 | |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | 6件 | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | ・中学校区を単位に、地域の課題抽出やその解決に向けた事業を支援する。(第三中学校区(3事業)、狭山中学校区(4事業)、南中学校区は交付金支出) | 7件 | | |
| 新規・継続 | 予算額 13,153 千円 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 7件 | |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 7件 |
| | 公民連携・協働推進グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|---------------|---|---|----------------|--------------------|
| 3 | 姉妹都市・友好都市交流促進事業 | 市民との協働による国際交流、国内交流を進めるため、姉妹都市・友好都市との自主的な交流活動を支援する。 | | 国際交流・国内交流の年間総実施事業数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | 6件 | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 大阪狭山市都市間市民交流協会が実施する友好都市日高川町・姉妹都市オンタリオ市との交流事業並びに広報紙の発行の支援を行う。 オンタリオ市との姉妹都市提携50周年記念事業の支援を行う。 | 6件 | |
| | 新規・継続 | 予算額 4,260 千円 | | |
| 4 | まちの活性化推進事業 (狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト) | 地域住民等が主体となって、「自分ごと」として狭山ニュータウン地区の再生・活性化のためのプロジェクトを推進していくため、「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議」に補助金を交付し、その活動を支援する。 | | 指標名 |
| | | | | 活動への参加者数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | — | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議の取組に係る経費を補助し、その活動を支援する。 | 1,200人 | | |
| 新規・継続 | 予算額 1,000 千円 | | | |
| 5 | 職員地域交流スタートアップ事業 | 市民との協働のまちづくりを進めていくうえで、人材育成の観点から、地域の活動がわかる職員づくりの一環として、職員研修を試行実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 体験者職員数 |
| | | 基準値 (令和元年度) | | |
| | | — | | |
| 取組内容 | | 目標値 | | |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 職員研修を実施する。 | 9人 | | |
| 新規・継続 | 予算額 200 千円 | | | |
| 5 | 職員地域交流スタートアップ事業 | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度新規事業 令和6年度新規事業 継続事業 | | 18人 |
| | | 担当グループ | | |
| 公民連携・協働推進グループ | 令和8年度 | 継続 | 27人 | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|----------|--|--|--------------|--------------------------|
| 6 | まちづくり円卓会議事業 (さやりんピック事業) | 狭山中校区の円卓会議事業として、健康、福祉、環境、防犯、防災などの要素を取り入れた競技やレクリエーション、ゲームなどを楽しみながら、スポーツを通じて子どもから高齢者まで世代間の交流や地域間の親睦を図り、地域住民のコミュニティづくりを進める。 | | 参加者数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 2,885人 |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・狭山中学校区で「さやりんピック」を開催する。 | 予算額 1,217 千円 | 3,000人 |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 3,000人 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 3,000人 | |
| 生涯学習グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-----------------|---|---------------------------------|
| (2) コミュニティ活動の促進 |  | II - ①地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|--|----------------------|----------------------|
| 1 | 地区集会所建設補助金事業 | 地域コミュニティ活動の促進を図るため、コミュニティ活動の拠点である地区集会所の整備に対して助成を行う。 | | 年間地区集会所整備件数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 4件 |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・地区集会所建設等補助金を交付する。 | 予算額 2,384 千円 | 9件 |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 9件 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 9件 | |
| 公民連携・協働推進グループ | | | | |
| 2 | 狭山池まつり補助事業 | 狭山池の歴史や文化、環境を守り継承していくことを基本とし、まちづくりにつなげると同時に、市民協働の活性化をめざすことを目的として、狭山池まつりを実施する団体に対して補助金を交付する。本市との協働のみならず、地域団体、NPO、高校、大学、専門学校、地元企業など様々な団体等との協働で取り組む事業であり、事業費を助成することで市民自治によるまちづくりの推進を図る。 | | 指標名 |
| | | | | 事業数 |
| | | | 基準値 (令和元年度) 2件 | |
| | 取組内容 | | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・狭山池まつり実行委員会補助金を交付する。 | 予算額 3,500 千円 | 2件 |
| | 新規・継続 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 2件 | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 2件 | |
| 公民連携・協働推進グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|------------------------------------|--|--|---|--------------------------|
| 3 | 市民活動支援センター 活性化事業 | 市民公益活動団体の自主的活動を支援し、市民との協働によるまちづくりの推進を図る拠点として設置している市民活動支援センターについて、令和5年度まで市内で活動するNPO法人へ業務を委託していたが、高齢化等により施設運営業務の受託が困難となったため、事業者に運営を委託する。 | | 市民活動支援センター発行の「しみのちから」登録数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | 264団体 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり大学の開催とまちづくり研究会への支援を行う。 ・ボランティア・インフォメーション・コーナーの運営支援を行う。 | 266団体 |
| 新規・継続 | 予算額 | 31,975 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | 継続 | | 266団体 |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | | | |
| ■ 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | | 266団体 |
| 公民連携・協働推進グループ | | | | |
| 4 | 地域力活性化支援事業 | 地域コミュニティ活動の推進を図るため、自治会等を対象に補助金を交付する。 | | 指標名 |
| | | | | 年間総事業件数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | 44件 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域力活性化支援事業補助金を交付する。 | 70件 | | |
| 新規・継続 | 予算額 | 5,500 千円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | 継続 | | 70件 |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | | | |
| ■ 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | | 70件 |
| 公民連携・協働推進グループ | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------|---|-----------------|
| (3) 公民連携の推進 |  | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|------------------------------------|----------|--|--|----------------|
| 1 | 公民連携推進事業 | 民間企業や大学をはじめ、多様な主体と連携・協力することにより、それぞれが持つ強みを活かしながら、まちづくりの課題解決に向けた取組みを進める。 | | - |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | | - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業や大学、各種団体からの相談や提案のワンストップ窓口となり、多様な主体との連携・協力を推進する。 | - |
| 新規・継続 | 予算額 | 0 円 | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | 継続 | | - |
| <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 | | | | |
| ■ 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | | - |
| 公民連携・協働推進グループ | | | | |

【施策21】

情報共有と発信の充実

将来あるべき姿（めざす方向性）

本市のまちの魅力やブランド力を高めることにより、シビックプライドの醸成及び認知度の向上をめざします。
また、市民の声を広く聞くとともに、市民に分かりやすく、かつスムーズに市政の情報を入手できる情報共有の仕組みづくりを進めます。

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-------|---|-----------------------------|
| (1) | 広報の充実 |  | Ⅲ－②地域の活力を活かした安心して転入できる環境の整備 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|--|---|---|
| 1 | 広報事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 広報広聴・人権啓発グループ | 広報おおさかさやま・声の広報の発行や、市ホームページとの連動により、わかりやすい行政情報を積極的に提供する。 | | ホームページへの年間総アクセス件数 基準値 （令和元年度） 800,012件 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・広報誌、ホームページの運用と連動して、SNSや動画等を活用し、市内外への情報発信を充実させる。 予算額 19,394 千円 | 820,000件 |
| | | 令和7年度 | 継続 | 830,000件 |
| | | 令和8年度 | 継続 | 840,000件 |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|---------|---|-----------------------------|
| (2) | 都市魅力の発信 |  | Ⅲ－②地域の活力を活かした安心して転入できる環境の整備 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|--|---------------------------------------|
| 1 | 魅力発信事業 <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 担当グループ 産業にぎわいづくりグループ | SNSにより市の魅力情報の効果的な発信を行うとともに、Instagramフォトコンテストを開催する。 また、帝塚山学院大学との官学連携により開発した狭山池ダムカレーを活用したプロモーションに継続して取り組む。 | | SNSによる情報発信回数 基準値 （令和元年度） 73回 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | | 令和6年度 | ・SNSにより市の魅力情報を発信するとともに、Instagramフォトコンテストを開催し、市民などの多角的な視点から魅力情報を収集・発信する。また、帝塚山学院大学との官学連携により開発した狭山池ダムカレーを活用したプロモーションに継続して取り組む。 予算額 749 千円 | 90回 |
| | | 令和7年度 | 継続 | 100回 |
| | | 令和8年度 | 継続 | 110回 |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|---------|---|-----------------|
| (3) | 広聴活動の充実 |  | |

| 事業名 | | 事業概要 | |
|---------------|--|--|--|
| 1 | 広聴事業 | 「ふるさといきいきカード」を活用して、市政に対する幅広い提言の徴取に努める。また、新たな広報ツールを検討し、その運用を図る。 | |
| | | 取組内容 | |
| | 令和6年度 | ・「ふるさといきいきカード」や問い合わせフォームを活用して、広聴事業を実施する。 予算額 5,996 千円 | 指標名 カードの受付件数 基準値 (令和元年度) 9件 目標値 |
| | 新規・継続 | | 30件 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 40件 |
| 広報広聴・人権啓発グループ | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|-------|---|-----------------|
| (4) | 情報の公開 |  | |

| 事業名 | | 事業概要 | |
|-----------|--|--|--|
| 1 | 情報公開・個人情報保護事業 | 本市情報公開条例並びに個人情報の保護に関する法律及び同法施行条例に基づき、市民等からの請求により公文書の公開及び個人情報の開示等を行い、個人情報を保護するとともに公正で開かれた市政を推進する。 | |
| | | 取組内容 | |
| | 令和6年度 | ・市民等からの情報公開請求及び個人情報開示請求等に対して適正な公開等を行う。 予算額 281 千円 | 指標名 市の決定内容が審査会で不適正と判断された件数 基準値 (令和元年度) 0件 目標値 |
| | 新規・継続 | | 0件 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 0件 |
| 法制・総務グループ | | | |

将来あるべき姿（めざす方向性）

効率的な行財政運営が図られるとともに、多様化する市民ニーズに柔軟に対応し、質の高い行政サービスが提供されるまちをめざします。

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|----------------------|---|-----------------|
| (1) 効率的で効果的な行財政運営の推進 |  | |

| 事業名 | 事業概要 | | 指標名 |
|--|--|--|---------------------|
| 1 第五次総合計画中間見直し事業 | 令和12年度を目標年度とした第五次大阪狭山市総合計画について、計画の中間年度が近づいていることから、これまでの計画の進捗状況を明らかにした上で、総合計画の中間見直しに向けた検討を進める。 また、総合計画のうちから、特に、地方創生を成し遂げるために重点的に取り組む施策をとりまとめた「第2期大阪狭山市総合戦略」についても、令和7年度末をもって、5年の計画期間が満了を迎えることから、次期総合戦略については総合計画の中間見直しとあわせ、一体的に検討を進める。 | | 指標名 |
| | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・第五次総合計画及び第2期総合戦略の取組みの実施状況の分析、市民意識調査、基礎調査等を実施する。 予算額 7,117 千円 | 50% |
| 新規・継続 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・審議会の答申やパブリックコメントを踏まえ、第五次総合計画の中間見直し及び次期総合戦略を策定する。 | 100% |
| 担当グループ | | | |
| 企画・情報政策グループ | 令和8年度 | - | - |
| 2 行財政改革推進事業 | 令和2年3月に策定した大阪狭山市行財政改革推進プラン2020（令和2年度～令和6年度）に基づき、行財政改革の取組みを推進する。 また、令和7年度以降も行財政基盤の強化に継続して取り組んでいくための新たな枠組み（（仮称）行財政運営戦略）を策定し、推進する。 | | 指標名 |
| | | | 年間総取組効果額 (一般会計分) |
| | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - |
| | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・行財政改革推進プラン2020の進捗管理を行う。 ・（仮称）行財政運営戦略等を策定する。 予算額 0 円 | 285,812千円 |
| 新規・継続 | | | |
| <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・（仮称）行財政運営戦略の進捗管理を行う。 | 未定 |
| 担当グループ | | | |
| 行財政マネジメントグループ | 令和8年度 | 継続 | 未定 |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|---------------|--|--|----------|----------------|
| 3 | 内部統制システム運用事業 | 地方公共団体が、職務を実施するにあたり、潜在的な事務ミスや不正などのリスクを抽出し、またそのリスクを抑制することを目的に、リスク抑制の対策を盛り込んだ各職務の手続き文書を作成するとともに、その適切な運用を図る監視体制を推進する。 | | 統制対象業務数 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・引き続き、統制活動を実施する。 | 5業務 | |
| | 新規・継続 | 予算額 0 円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 5業務 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 5業務 | |
| 法制・総務グループ | | | | |
| 4 | 行政不服審査事業 | 不服申立制度の見直し、使いやすさの向上、公正性の向上などの観点から見直しされた行政不服審査法に基づく不服申立制度の適正な運用を図るため、附属機関である、大阪狭山市行政不服等審査会を運営し、公正で開かれた市政を推進する。(不服申立者に対する市の裁決案について審査答申する。) | | 指標名 |
| | | | | 取消訴訟の件数 |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・行政不服等審査会を運営する。 | 0件 | |
| | 新規・継続 | 予算額 281 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 0件 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 0件 | |
| 法制・総務グループ | | | | |
| 5 | ふるさと応援寄附金事業 | 本市にふるさと納税をしていただいた方に、感謝の意を表するとともに、寄附のさらなる促進を図るため、市外在住の寄附者に対して、本市の自慢の商品である「さやまのええもん」をはじめ、魅力ある返礼品を贈呈する。 | | 指標名 |
| | | | | まちづくり寄附金額 |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・寄附に対する返礼品の調達及び発送を行う。 | 15,000千円 | |
| | 新規・継続 | 予算額 14,466 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 15,000千円 |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 15,000千円 | |
| 産業にぎわいづくりグループ | | | | |

| 行政の取組内容 | | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|---------|------------------|--|-----------------|
| (2) | 適切な公共施設マネジメントの推進 | 11  | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|---------------|--|--|-----------------------|----------------------------|
| 1 | 文化会館施設長寿命化事業（再掲） | 市民が安全で快適に利用できる文化会館をめざし、適切に設備の更新、維持管理を行う。 | | 文化会館施設利用率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) 77.2% |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・レストランの製氷機を更新する。 | 77.6% | |
| | 新規・継続 | 予算額 1,752 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・必要に応じて設備の更新や改修工事を行う。 | 77.6% |
| 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 77.6% | |
| 公民連携・協働推進グループ | | | | |
| 2 | 公共施設マネジメント推進事業 | 公共施設マネジメントを推進するため、「大阪狭山市公共施設等総合管理計画」や「大阪狭山市公共施設再配置方針」に基づく個別施設計画として、公共施設再配置計画（短期計画）を策定する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 基準値 (令和元年度) - |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・公共施設に関する市民アンケートや、公共施設再配置の事業化に向けたタウンミーティングを実施する。それらを踏まえた上で、再配置計画の素案を作成し、パブリックコメントを経て、再配置計画を策定する。 | 100% | |
| | 新規・継続 | 予算額 9,252 千円 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 資産活用・契約グループ | | | | |
| 3 | 本庁舎外壁改修事業 | 市役所本庁舎の耐震改修工事より10年が経過していることから、市民が安全に利用するため改修を行う。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 基準値 (令和元年度) - |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・令和5年度に実施した本庁舎外壁劣化調査業務の結果に基づき、劣化箇所の改修を行う。 | 100% | |
| | 新規・継続 | 予算額 12,000 千円 | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | - |
| 担当グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 資産活用・契約グループ | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----------|--|--|----------------|----------------|
| 4 | 保健センター長寿化事業 | 市民が安全で安心して利用できる保健センターをめざし、施設の補修、維持管理を行う。 | | 進捗率 |
| | | | | 基準値 (令和元年度) |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・保健センターエレベーターについては、設置から35年が経過し、耐用年数が過ぎていることから、制御盤等の基盤を交換する。 | 10% | |
| | 新規・継続 | 予算額 184 千円 | | |
| 5 | コミュニティセンター備品購入事業 | コミュニティセンター内のトレーニングルームにおいて、ランニングマシンやフィットネスバイク、マッサージチェアを更新する。また、施設を快適に利用いただけるよう、洋式トイレに温水洗浄便座を設置する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| 令和6年度 | ・ランニングマシン、フィットネスバイク、マッサージチェアを購入する。 ・各階の洋式トイレに温水洗浄便座を設置する。 | 100% | | |
| 新規・継続 | 予算額 3,608 千円 | | | |
| 令和5年度新規事業 | | - | | |
| 令和6年度新規事業 | | - | | |
| 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | | | | |
| 市民窓口グループ | 令和8年度 | - | - | |
| 6 | コミュニティセンター施設長寿化事業 | 市民が安全で安心して利用できるコミュニティセンターをめざし、施設の補修、維持管理を行う。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・換気設備及び停電時に点灯する非常用照明装置について、不良個所の改修工事を行う。 | 100% | |
| 新規・継続 | 予算額 1,076 千円 | | | |
| 令和5年度新規事業 | | - | | |
| 令和6年度新規事業 | | - | | |
| 継続事業 | | | | |
| 担当グループ | | | | |
| 市民窓口グループ | 令和8年度 | - | - | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|----------|--|--|---|------------------------------|---|
| 7 | 総合グラウンド等樹木剪定及び伐採事業 | 総合グラウンド周囲の高木（クスノキ）全72本が繁茂し、強風等で枝が落下し、通行に危険があることから3年計画で危険度の高いところから順に伐採する。 | | 樹木の剪定及び伐採数 基準値 (令和元年度) | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・高木（クスノキ）28本の剪定業務を行う。 | | 28本 | |
| | 新規・継続 | 予算額 1,100 千円 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 | - | | - |
| 生涯学習グループ | | | | | |
| 8 | スポーツ施設長寿命化事業 | 市民が安全で安心して利用できるスポーツ施設をめざし、施設の補修、維持管理を行う。 | | 指標名 | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・総合体育館のエレベーターについては、総合体育館設立当初より使用しており、経年劣化が見られるとともに、交換が必要な部品の製造を終了を通知されていることから、改修を行う。 | | 100% | |
| | 新規・継続 | 予算額 2,400 千円 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | - | | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 | - | | - |
| 生涯学習グループ | | | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|--------------|---|-----------------|
| (3) 人材の育成と活用 |   | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 | |
|--------|--|--|----|------------------------------|------|
| 1 | 人材育成の推進 | 大阪狭山市人材育成基本方針に基づき、人を育てる職場風土の醸成と職員の自己啓発に対する支援、職員研修等による能力開発の充実、総合的な人事制度を構築することにより、人材育成を推進する。 | | 年間研修延べ参加者数 基準値 (令和元年度) | |
| | | 取組内容 | | 目標値 | |
| | 令和6年度 | ・職員研修計画に基づく研修を実施する。 | | 900人 | |
| | 新規・継続 | 予算額 4,864 千円 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | | 900人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | | 900人 |
| 人事グループ | | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|--|---|
| 2 | 労働安全衛生の充実 | 職員の健康を保持・増進するため、職員安全衛生管理体制の充実を図る。 また、各職場の長時間勤務を抑制するため、時間外勤務の縮減に関する指針を徹底し、各職場への意識付けを行うとともに、長時間勤務者の健康管理や出退勤システムによる適正な時間管理を行う。 | | 長時間勤務者年間延べ 人数（45時間以上） 基準値 （令和元年度） 28人 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・「時間外勤務縮減に関する指針」の徹底及び職員の健康管理のため出退勤管理システムによる時間外勤務の適正な運用を図る。 予算額 0 円 | 0人 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 0人 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 0人 |
| | 人事グループ | | | |
| 3 | 組織力・意欲向上改革事業 | 複雑多様化する行政課題に対応し、質の高い自治体運営、市民サービスの向上を図ることを目的として、職員のエンゲージメント（組織や仕事に対する貢献・意欲）調査を実施し、組織状態を定量的かつ客観的に可視化するとともに、エンゲージメントを高めるアクションプランを作成・実行することで、組織力及び職員の意欲向上に取り組む。 | | 指標名 エンゲージメントに関する 職員調査回答率 基準値 （令和元年度） - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・職員のエンゲージメント調査を実施し、定量的かつ客観的に可視化された組織状態をもとに、エンゲージメントを高めるアクションプランを作成・実行する。 予算額 6,336 千円 | 70% |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 85% |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 100% |
| | 人事グループ | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDG s | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|--------------------|--|-----------------|
| (4) 情報化の推進と個人情報の保護 | 11  | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|--|--------------------------------|
| 1 | 電算処理効率化事業 | 統合情報システム基盤構築業務に伴い、ロボットの稼働環境が変わるため、現在運用中のロボットを新環境に対応させる作業を実施する。 また、令和5年度に実施した同事業によるロボットの開発（作業時間100時間）について、効率化の見込めるものうち、令和5年度に実施できなかったものについて追加で開発を行うとともに、職員によるロボット開発を推進するため事業者へ直接質問できる体制を整備する。 | | 新規導入業務数 基準値 （令和元年度） - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・開発済のロボットの統合基盤への移設及び職員による開発のサポートを委託する。 予算額 1,980 千円 | 5業務 |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | ・職員による開発のサポートを委託する。 | 5業務 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 5業務 |
| | 企画・情報政策グループ | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | |
|-------------|------------------|---|--|-----|
| 2 | 住民情報システム標準化支援事業 | 令和7年度のシステム標準化に向け、現行住民情報システムの標準化対象業務について、標準仕様書との差異を分析し、対応を検討する必要があることから、差異の分析を効率化するため、追加・変更・削除される機能・帳票についての各担当への説明を委託する。 また、現行システムで使用している外字について、文字同定作業（現行システムで使用している外字と、標準化システムの文字情報を突き合せ、一定の基準で同じ字形の文字を探し、文字を整理する作業）を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| | 新規・継続 | 令和6年度 | ・次期システム及び事業者の選定を行い、標準準拠システムへの移行の準備を行う。 ・MJ+（行政事務標準文字）への同定を実施する。 | 20% |
| | | 予算額 6,370 千円 | | |
| 3 | 住民情報システム等再構築事業 | 市役所業務で利用している三つのシステムのシステム（マイナンバー利用事務系、LGWAN接続系、インターネット接続系）について、より効率的な事務運営を図るため、三系統を統合した情報システム基盤（統合情報システム基盤）の整備を進めている。 統合情報システム基盤の調達に伴い、住民情報システム・滞納管理システム・生活保護システム・顔認証システム等の再構築（統合情報システム基盤への移設作業等）を行うとともに、連携動作等の確認作業を実施する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | | | 取組内容 | 目標値 |
| 新規・継続 | 令和6年度 | ・住民情報システム・滞納管理システム・顔認証システム等の再構築を行い、連携動作等の確認作業を実施する。 | 100% | |
| | | 予算額 54,557 千円 | | |
| 4 | チャットAIアシスタント導入事業 | 令和5年度に試行実施した生成AIの活用により、事業のアイデア出しや、挨拶文作成、文章校正、要約等において業務効率の向上の効果が得られたことから、令和6年度から本格導入する。 | | 指標名 |
| | | | | 進捗率 |
| | | | 基準値 (令和元年度) | |
| | | | - | |
| | | 取組内容 | 目標値 | |
| 新規・継続 | 令和6年度 | ・庁内で既存で運用しているチャットツールにAIアシスタントオプションを追加導入し、生成AI（ChatGPT）の運用を開始する。 | 100% | |
| | | 予算額 682 千円 | | |
| 企画・情報政策グループ | 令和7年度 | - | - | |
| | 令和8年度 | - | - | |
| | 令和5年度新規事業 | 令和7年度 | - | |
| 令和6年度新規事業 | 令和8年度 | - | | |
| 継続事業 | | | | |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|---|---------------|--|
| 8 | マイナンバー（個人番号）カード交付事業 | マイナンバー（個人番号）カードの発行を希望された市民に対して、カードの交付を行う。 | | マイナンバーカードの交付申請件数 基準値 (令和元年度) 1,961件 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・マイナンバーカードを交付する。 | 予算額 10,701 千円 | 1,609件 |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 3,668件 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 4,118件 |
| | 市民窓口グループ | | | |
| 9 | 議会ICT化推進事業 | 議案書、会議資料等に用いる紙資源の使用削減及び印刷・配布に係る業務の効率化を図るため、本会議・委員会等で用いる議案書等の資料のデジタル化によるペーパーレス会議のためのタブレット端末を、市議会議員に1人1台整備する。 | | 指標名 進捗率 基準値 (令和元年度) - |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・ペーパーレス会議のための文書共有システムの整備と、タブレット端末を市議会議員に1人1台整備する。 | 予算額 3,260 千円 | 100% |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | - |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | - |
| | 議会事務局 | | | |

| 行政の取組内容 | 関連するSDGs | 重点施策（総合戦略の基本目標） |
|-------------|---|-----------------------------|
| (5) 広域連携の推進 |  | Ⅱ-③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり |

| 事業名 | | 事業概要 | | 指標名 |
|-----|--|--|---------|-----------------------------------|
| 1 | 広域連携推進事業 | 市民に最も身近な基礎自治体の果たすべき役割が増大していくなかで、大阪府の事務権限の一部受け入れなどに際して、高い専門性を伴う事務の効率的実施や、市民の利便性の向上を図るため、南河内3市2町1村（大阪狭山市、富田林市、河内長野市、河南町、太子町、千早赤阪村）で共同処理を行う体制を構築する。また、構成団体において既に行っている事務についても共同処理に向けた検討を進める。 | | 共同処理事務数 基準値 (令和元年度) 51事務 |
| | | 取組内容 | | 目標値 |
| | 令和6年度 | ・さらなる広域連携事務の検討を進める。 | 予算額 0 円 | 50事務 |
| | 新規・継続 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 令和5年度新規事業 <input type="checkbox"/> 令和6年度新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 | 令和7年度 | 継続 | 50事務 |
| | 担当グループ | 令和8年度 | 継続 | 50事務 |
| | 企画・情報政策グループ | | | |